



平成30年度版

鳥取県中部農林業

データブック



鳥取県中部総合事務所農林局

目 次

	ページ
1 中部農業の概要	1
2 中部農産物の収穫時期	5
3 中部農林水産物の買いどころ、食べどころ、見どころ、体験スポット	6
4 こだわり農産物・加工品一覧表(倉吉・東伯農業改良普及所管内別)	8
5 認定農業者の認定基準と認定農業者数の推移	11
6 家族経営協定数の推移	12
7 新規就農者の動向	13
8 企業の農業参入	15
9 集落営農組織について	16
10 中山間地域等直接支払の状況	17
11 畜産の動向	18
12 転作作物の作付状況	19
13 梨の現状と振興方策	20
14 環境にやさしい農業	21
15 チャレンジプラン支援事業の実施状況	22
16 鳥獣被害の推移と対策	23
17 荒廃農地の状況	25
18 圃場整備率	26
19 中部管内ため池等状況	27
20 多面的支払交付金の実施状況	28
21 環境保全型農業直接支払対策の実施状況	30
22 森林・林業の現状と取り組み	31

1 中部農業の概要

(1) 農家数

市町名	総世帯数	総農家数	販売農家数	自給的農家数
倉吉市	18,548	2,575	1,602	973
三朝町	2,290	685	411	274
湯梨浜町	5,482	1,201	730	471
琴浦町	5,795	1,545	1,105	440
北栄町	4,813	1,286	882	404
中部計	36,928	7,292	4,730	2,562
対県計割合	17.0%	26.3%	26.5%	26.0%
東部計	89,051	10,492	6,367	4,125
西部計	90,915	9,929	6,749	3,180
県計	216,894	27,713	17,846	9,867

□資料：2015年世界農林業センサス。2015年国勢調査。

(2) 市町別農業就業人口と年齢区分別比率

農業就業者数を年齢区分別に見ると、中部地域は、東・西部地域と比べて25～64歳の占める割合が大きく、65歳以上の占める割合が小さく、農業が主産業となっていることがうかがわれる。

区分	計	15～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65歳以上
倉吉市	2,225	5	38	45	81	457	1,599
	100.0%	0.2%	1.7%	2.0%	3.6%	20.5%	71.9%
三朝町	501	2	1	9	11	97	381
	100.0%	0.4%	0.2%	1.8%	2.2%	19.4%	76.0%
湯梨浜町	1,130	4	12	25	36	227	826
	100.0%	0.4%	1.1%	2.2%	3.2%	20.1%	73.1%
琴浦町	1,765	5	39	60	78	341	1,242
	100.0%	0.3%	2.2%	3.4%	4.4%	19.3%	70.4%
北栄町	1,688	17	66	80	133	430	962
	100.0%	1.0%	3.9%	4.7%	7.9%	25.5%	57.0%
中部計	7,309	33	156	219	339	1,552	5,010
	100.0%	0.5%	2.1%	3.0%	4.6%	21.2%	68.5%
東部計	8,994	32	132	163	255	1,661	6,751
	100.0%	0.4%	1.5%	1.8%	2.8%	18.5%	75.1%
西部計	9,836	180	152	224	352	1,712	7,216
	100.0%	1.8%	1.5%	2.3%	3.6%	17.4%	73.4%
県計	26,126	245	440	606	933	4,925	18,977
	100.0%	0.9%	1.7%	2.3%	3.6%	18.9%	72.6%

□資料：2015年世界農林業センサス

(3) 農産物販売金額別経営体数

市町名	農産物販売金額別経営体数							
	計	100万円未満	100～300	300～500	500～1000	1000～2000	2000～5000	5000以上
倉吉市	1,663	1,137	247	87	101	59	23	9
	100.0%	68.4%	14.9%	5.2%	6.1%	3.5%	1.4%	0.5%
三朝町	421	378	21	7	5	1	7	2
	100.0%	89.8%	5.0%	1.7%	1.2%	0.2%	1.7%	0.5%
湯梨浜町	767	444	190	73	39	16	4	1
	100.0%	57.9%	24.8%	9.5%	5.1%	2.1%	0.5%	0.1%
琴浦町	1,132	581	241	104	111	53	21	21
	100.0%	51.3%	21.3%	9.2%	9.8%	4.7%	1.9%	1.9%
北栄町	923	310	224	89	120	114	49	17
	100.0%	33.6%	24.3%	9.6%	13.0%	12.4%	5.3%	1.8%
中部計	4,906	2,850	923	360	376	243	104	50
	100.0%	58.1%	18.8%	7.3%	7.7%	5.0%	2.1%	1.0%
東部計	6,552	5,373	740	164	134	72	42	27
	100.0%	82.0%	11.3%	2.5%	2.0%	1.1%	0.6%	0.4%
西部計	6,923	5,296	839	277	254	156	72	29
	100.0%	76.5%	12.1%	4.0%	3.7%	2.3%	1.0%	0.4%
県計	18,381	13,519	2,502	801	764	471	218	106

□資料：2015年世界農林業センサス

(4) 販売目的の作物別作付（栽培）面積及び県内シェア

市町名	稲	麦類	雑穀	いも類	豆類	工芸農作物	野菜類	花卉類・花木	その他作物
倉吉市	ha 1,320	40	12	3	188	3	303	31	101
県内シェア	12.0%	35.1%	3.8%	3.8%	27.2%	2.0%	11.7%	14.8%	6.2%
三朝町	ha 239	0	0	1	19	1	10	0	4
県内シェア	2.2%	0.0%	0.0%	1.3%	2.7%	0.7%	0.4%	0.0%	0.2%
湯梨浜町	ha 316	0	0	2	70	0	25	0	17
県内シェア	2.9%	0.0%	0.0%	2.5%	10.1%	0.0%	1.0%	0.0%	1.0%
琴浦町	ha 604	2	13	2	18	50	185	9	336
県内シェア	5.5%	1.8%	4.2%	2.5%	2.6%	33.3%	7.2%	4.3%	20.6%
北栄町	ha 545	39	2	4	96	24	441	10	125
県内シェア	4.9%	34.2%	0.6%	5.1%	13.9%	16.0%	17.0%	4.8%	7.6%
中部計	ha 3,024	81	27	14	391	78	964	50	583
県内シェア	27.4%	71.1%	8.6%	17.7%	56.6%	52.0%	37.3%	23.9%	35.7%
東部計	ha 3,942	17	75	30	152	16	437	103	232
県内シェア	35.7%	14.9%	24.0%	38.0%	22.0%	10.7%	16.9%	49.3%	14.2%
西部計	ha 4,080	16	211	35	148	56	1,196	56	819
県内シェア	36.9%	14.0%	67.4%	44.3%	21.4%	37.3%	46.2%	26.8%	50.1%
県計	11,046	114	313	79	691	150	2,587	209	1,634
県内シェア	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

□資料：2015年世界農林業センサス

※個人情報保護のため数値が公表されていない項目 x があるため、端数は一致しない。

(6) 耕作放棄率

市町名	2005年 (ha)	2010年 (ha)	2015年 (ha)	2015/2010 比率	経営耕地面積に 占める耕作放棄 地の割合
倉吉市	275	298	332	111%	12.5%
三朝町	74	82	72	88%	17.1%
湯梨浜町	217	246	254	103%	36.3%
琴浦町	178	193	229	119%	11.3%
北栄町	200	238	262	110%	15.5%
中部計	944	1,057	1,149	109%	15.3%
東部計	1,081	1,134	1,287	113%	17.0%
西部計	1,386	1,426	1,396	98%	14.5%
県計	3,410	3,616	3,832	106%	15.5%

□資料：2015年世界農林業センサス

(7) 学校給食用食材（原材料）の生産地別使用状況（平成29年度）

区分	県産品利用		その他				計	
	<地産地消> 県内産(原材料)		国内産 (原材料)		外国産 (原材料)			
	使用量 (kg)	使用 比率	使用量 (kg)	使用 比率	使用量 (kg)	使用 比率	使用量 (kg)	
倉吉市	89,580	66%	42,010	31%	530	0%	132,120	
湯梨浜町	羽合	23,081	82%	4,988	18%	0	0%	28,069
	泊	3,587	89%	369	9%	0	0%	3,956
	東郷	10,707	79%	1,976	15%	0	0%	12,683
	合計	37,374	81%	7,334	16%	0	0%	44,708
三朝町	19,375	95%	870	4%	0	0%	20,245	
北栄町	40,515	95%	2,039	5%	0	0%	42,554	
琴浦町	29,873	73%	9,133	22%	92	0%	39,098	
県内計	887,374	65%	454,178	33%	1,096	0%	1,342,648	

□資料：鳥取県教育委員会調べ

※米、麦、牛乳を除く主な使用食材44品目の使用実態を重量の割合でまとめたもの。
 ※個々のデータを四捨五入で入力しているため、合計が100%にならない場合や合計値に若干誤差が生じる場合がある。

(8) 中部主要農畜産物の栽培(飼養)販売状況(直近5年間)

H30年9月末現在

種類	作目等	項目	H24	H25	H26	H27	H28	H29
作物	水稻	作付面積(ha)	3,756	3,727	3,534	3,350	3,350	3,345
		販売金額(千円)	2,387,062	2,394,763	2,139,404	1,609,439	1,736,118	1,843,483
	麦	作付面積(ha)	83	80	86	87	124	120
		販売金額(千円)	26,281	26,544	21,162	28,484	30,429	32,394
	大豆	作付面積(ha)	301	300	320	349	354	346
販売金額(千円)		53,941	47,482	95,825	80,055	125,072	85,142	
作物計		販売金額(千円)	2,486,714	2,468,789	2,256,391	1,717,978	1,891,619	1,961,019
果樹	梨	作付面積(ha)	413	388	362	349	329	324
		販売金額(千円)	2,953,688	2,903,687	2,601,986	2,736,927	2,657,928	2,688,230
	ぶどう	作付面積(ha)	44	42	46	42	41	42
		販売金額(千円)	313,396	307,120	287,084	309,401	317,055	311,241
	かき	作付面積(ha)	36	35	28	28	27	27
販売金額(千円)		51,823	52,775	44,698	56,014	60,942	51,061	
果樹計		販売金額(千円)	3,354,919	3,260,339	2,933,768	3,102,342	3,035,925	3,050,532
野菜	ずいか (小玉を含む)	作付面積(ha)	314	306	301	296	290	280
		販売金額(千円)	2,862,680	2,998,298	2,874,130	2,740,669	3,078,210	3,103,887
	いちご	作付面積(ha)	3	3	2	2	2	2
		販売金額(千円)	48,100	53,369	50,741	47,445	46,481	47,940
	メロン	作付面積(ha)	21	20	20	18	18	17
		販売金額(千円)	159,401	146,359	140,753	140,571	140,635	151,579
	キャベツ	作付面積(ha)	47	41	40	40	44	48
		販売金額(千円)	111,516	140,665	115,299	168,472	181,892	119,608
	ほうれんそう	作付面積(ha)	48	58	47	61	61	68
		販売金額(千円)	295,172	270,138	255,152	269,351	275,740	283,211
	白ねぎ	作付面積(ha)	79	89	78	67	68	73
		販売金額(千円)	670,298	655,653	558,851	668,485	647,387	618,528
	ブロッコリー	作付面積(ha)	174	162	170	188	192	191
		販売金額(千円)	504,305	491,706	514,126	542,039	471,344	500,867
	チンゲンサイ	作付面積(ha)	9	9	9	10	10	10
販売金額(千円)		51,829	47,833	43,809	48,792	52,656	54,287	
トマト	作付面積(ha)	20	19	18	19	19	20	
	販売金額(千円)	455,685	412,238	423,234	493,194	423,883	480,067	
ながいも	作付面積(ha)	29	28	30	28	29	34	
	販売金額(千円)	317,700	347,963	329,524	356,662	401,664	445,282	
らっきょう	作付面積(ha)	76	75	71	68	60	65	
	販売金額(千円)	631,895	586,479	566,469	571,647	662,923	622,121	
野菜計		販売金額(千円)	6,386,728	6,146,556	5,872,088	6,047,327	6,382,815	6,427,377
花き特産	ストック	作付面積(ha)	11	10	10	10	10	9
		販売金額(千円)	153,086	119,046	0	145,965	111,937	174,939
	葉たばこ	作付面積(ha)	26	26	23	—	—	—
		販売金額(千円)	121,152	108,393	90,866	—	—	—
花き特産計		販売金額(千円)	336,944	208,725	90,866	145,965	111,937	174,939
畜産	和子牛	出荷頭数(頭)	583	609	576	602	650	728
		販売金額(千円)	231,217	279,573	298,902	349,110	508,549	568,993
	乳子牛	出荷頭数(頭)	830	957	1,104	1,240	1,520	1,471
		販売金額(千円)	132,642	173,481	214,491	303,018	438,331	448,625
	肉用牛	出荷頭数(頭)	1,850	2,144	2,856	2,578	2,399	2,149
		販売金額(千円)	896,008	1,222,567	1,989,664	2,252,996	2,295,715	2,044,810
	子豚	出荷頭数(頭)	2,085	1,682	667	447	86	—
		販売金額(千円)	28,839	26,043	12,247	8,179	1,407	—
	肉豚	出荷頭数(頭)	15,953	15,040	13,247	12,667	12,049	11,906
		販売金額(千円)	485,562	499,403	507,510	480,962	426,987	450,846
生乳	出荷量(t)	30,788	29,934	29,651	29,670	30,490	30,478	
	販売金額(千円)	3,187,785	3,058,708	3,187,644	3,123,000	3,234,000	3,249,000	
畜産計		販売金額(千円)	4,962,053	5,259,775	6,210,458	6,517,265	6,904,989	6,762,274
総計		販売金額(千円)	17,527,358	17,344,184	17,363,571	17,530,877	18,327,285	18,376,141

注①各種類計の額には上記以外の作目を含む。

②販売金額は、農協等を通じて販売されたものであり、個人出荷等によるものは含まない。

□農協等聞き取り

2 中部農産物の収穫時期

品目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	備考	
な し	二十世紀	ハウス												青なし
	二十世紀	露地												〃
	夏さやか	*												〃
	なつひめ													〃
	幸水													赤なし
	新甘泉													〃
	秋栄													〃
	豊水													〃
	秋甘泉	*												〃
	あきづき													〃
	新高													〃
	新興													〃
	王秋													〃
愛宕													〃	
か き	西条													
	輝太郎													
	富有													
ぶ ど う	デラウェア													
	巨峰													
	ピオーネ													
	ハニービーナス													
	シャインマスカット													
り ん ご	つがる													
	ジョナゴールド													
	秋映、陽光													
	シナノスイート													
ふじ														
ブルーベリー														
いちじく														
栗(ぼろたん)														
すいか														
メ ロ ン	プリンス													
	クレオパトラ													
	エリザベス													
	タカミ													
	ベルル													
いちご														
トマト														半促成
														露地 抑制
ミニ・中玉トマト														
らっきょう														
ながいも														
キャベツ														
ブロッコリー														
ほうれんそう														周年
白ねぎ														周年
チンゲンサイ														周年
花 き	ストック													
	パンジー													
	シンテツポウユリ													

注) *印は、市場に流通しているのは少量ですが、新品種として登録されており、参考として掲載しています。

3 中部農林水産物の買いどころ、見どころ、食べどころ、体験スポット

買う

※営業日・営業内容等は事前に電話等で御確認ください。

No.	直売市ー新鮮よりどりみどり	特産品	連絡先住所・電話番号	
1	旬鮮プラザ満菜館	農産物	倉吉市西倉吉町	0858-48-2525
2	旬鮮プラザよってみたい菜	農産物	倉吉市八屋	0858-47-4197
3	久米にこにこ市	農産物	倉吉市横田	0858-28-0781
4	道の駅犬挟(いぬばさり)	農産物	倉吉市関金町山口	0858-45-1313
5	湯命市	農産物	倉吉市関金町関金宿	0858-45-2000
6	三朝おひさま市	農産物	三朝町山田	0858-43-2355
7	道の駅みささ楽市楽座	農産物	三朝町大柿	0858-43-2286
8	ハワイ夢マート	農産物	湯梨浜町久留	0858-35-3535
9	とうごう市	農産物	湯梨浜町中興寺	0858-32-0437
10	道の駅はわい	農・水産物	湯梨浜町宇野	0858-35-3933
11	ジャコム中央とれ鮮市「トピア広場」	農産物	琴浦町徳万	0858-52-2000
12	新鮮市場「プラッツ中央」	農産物	琴浦町逢東	0858-53-1089
13	赤碕ふれあい市	農産物	琴浦町赤碕	0858-55-2211
14	赤碕町漁協活魚・鮮魚直売センター2号館	水産物	琴浦町別所	0858-49-2020
15	あぐりポート琴浦	農産物	琴浦町別所	0858-55-6336
16	あぐりポート琴浦2号店(「物産館ことうら」内)	農産物・加工品	琴浦町別所	0858-55-7700
17	赤碕町漁協鮮魚直売センター	水産物・加工品	琴浦町別所	0858-55-6080
18	カウイーのみるく館	乳製品	琴浦町保	0858-52-2211
19	HOJYO砂丘マーケットAコープ下北条	農産物	北栄町北尾	0858-36-3012
20	お台場いちば	農産物	北栄町由良宿	0858-37-5451
21	北栄オートキャンプ場	農産物	北栄町田井	0858-36-4568

No.	「道の駅」一車で行くのに便利	特産品	連絡先住所・電話番号	
1	道の駅犬挟(いぬばさり)	農産物	倉吉市関金町山口	0858-45-1313
2	道の駅みささ楽市楽座	農産物	三朝町大柿	0858-43-2286
3	道の駅はわい	農・水産物	湯梨浜町宇野	0858-35-3933
4	道の駅ポート赤碕	農・水産物	琴浦町別所	0858-49-2020
5	道の駅だいえい	農産物	北栄町由良宿	0858-37-5395
6	道の駅北条公園	農産物	北栄町国坂	0858-36-4600
7	道の駅琴の浦	農産物	琴浦町別所	0858-55-7811

食べる(農家・集落営食堂)

※営業日・営業内容等は事前に電話等で御確認ください。

No.	野趣のある食事はいかが	連絡先住所・電話番号	
1	清流遊YOU村	倉吉市関金町小泉	0858-45-1015
2	水車の郷体験工房	倉吉市関金町明高	0858-45-1128
3	田舎茶屋縁満(よりみち)	三朝町大柿	0858-43-1837
4	野田工房「そばの花」	琴浦町野田	0858-53-1845
5	さくらの里	琴浦町山川	0858-55-7007
6	ちっちゃなレストラン	琴浦町逢東	0858-53-1100
7	そば処「ごろくとほうせん」	倉吉市志津	090-4148-8551

見る

No.	ゆるりと回り道もまた楽し	見どころ	見ごろ
1	林道波関俵原線(通り抜けできません)	三徳山投入堂	落葉後
2	鳥取二十世紀梨記念館	梨	一年中
3	倉吉市関金町大山池	風景	夏
4	倉吉市関金町安歩親水公園	風景	春・夏・秋
5	林道円谷広瀬2号線	風景	春・夏・秋
6	林道山守矢送線(通り抜けできません)	風景	春・夏・秋
7	三朝町俵原牧場	牧場	春・夏・秋
8	林道南三朝線	風景	春・夏・秋
9	湯梨浜町野花梅林・梨園	梅・梨	5月・9月
10	琴浦町船上山ダム桜まつり	桜・ダム	桜のころ
11	琴浦町一向ヶ平展望台	風景	春・夏・秋
12	北栄町曲蜘蛛ヶ山山菜の里	山菜	春
13	北栄町西穂波大区画ほ場	ほ場	春・夏・秋
14	北栄町妻波の跨線橋	風景	一年中

体験する

No.	いろいろできる	スポット	連絡先住所・電話番号	
1	そば打ち	そば処「ごろくとほうせん」	倉吉市志津	090-4148-8551
		水車の郷体験工房	倉吉市関金町明高	0858-45-1128
		羽衣石そば道場	湯梨浜町羽衣石	0858-32-1593
		野田工房「そばの花」	琴浦町野田	0858-53-1845
2	なし狩り	倉吉観光梨園	倉吉市古川沢	090-3748-8016
		いしだ梨狩り園	倉吉市石塚	0858-28-1230
		波関園	湯梨浜町別所	0858-32-1821
		長谷園	湯梨浜町北福	0858-32-0051
		JA鳥取中央・体験農場	三朝町大柿道の駅「楽市楽座」	0858-43-2286
3	ぶどう狩り	安藤観光ぶどう園	北栄町松神	0858-36-2878
		近藤農園	北栄町弓原	0858-36-3831
		サンサンぶどう園	北栄町国坂	0858-36-2252
4	りんご狩り	阪本りんご園	北栄町妻波	0858-37-4914
5	梅狩り、栗拾い	村岡農園	北栄町由良宿	0858-37-4739
6	いちご狩り	小林農園	湯梨浜町原	0858-34-2064
		松山農園	湯梨浜町原	090-6320-2583
		やよすけファーム	三朝町三朝	080-6344-6996
7	メロン狩り	北条砂丘観光メロン園	北栄町国坂	0858-36-2214
8	ぶどう&いちご狩りなど	浜根農園	北栄町松神	0858-36-4173
		タクマ農園	北栄町東園	090-5269-2571
9	いちじく&さくらんぼ狩り	体験農場ナオ	琴浦町杉下	080-3055-4830
10	桃、リンゴ、くり&ぎんなん	歓農園	琴浦町八橋	0858-53-0734
11	ながいも堀り	杉本農園	北栄町松神	0858-36-3176
		根鈴観光農園	北栄町松神	0858-36-3700
12	らっきょう堀り	あおがめ農園	北栄町弓原	0858-36-3796
13	ブルーベリー狩り	フレッシュベリーファーム	琴浦町赤碓	0858-55-0212
		大川農園	琴浦町倉坂	090-1013-5126
14	溪流釣り	清流遊YOU村フィッシングセンター	倉吉市関金町小泉	0858-45-1015
15	観光地引き網	北栄町内 (北栄町役場0858-36-3111にお問い合わせください。)		

4-1 こだわり農産物・加工品一覧表(倉吉農業改良普及所管内)

No.	品目名	特 長	市町村等
1	特選三朝米	鳥取県が認証する特別栽培米の基準を満たす「コシヒカリ」と「きぬむすめ」。特に土づくり資材として、堆肥に竹粉を混ぜた「竹粉堆肥」を投入している。	三朝町
2	完熟梨	二十世紀梨の完熟期(9月10日頃)に収穫した梨。糖度11.5度以上を保証。 ネーミングは「美味・熟っと梨、鳥取二十世紀梨(びみ・うっとり、とっとりになじせいなし)」。 出荷時期9月中旬	JA鳥取中央管内
3	無袋幸水	倉吉梨生産部の無袋梨シリーズ。有袋栽培より糖度が高い。出荷時期8月中・下旬	倉吉市
4	プリンスメロン	発酵堆肥と稲わら、もみがら等の施用で、メロンに最適な土づくりをし、化学肥料を慣行の9割減とし、農薬の防除回数を慣行の5割減で管理。 また、樹勢の強化を図る目的でスキムミルクとブドウ糖を散布するなど元気でのびのびとしたメロンづくりを心がけている。出荷時期5月下旬～7月上旬	倉吉市
5	ゆきっこ大根	土づくりを行い化学肥料を使用せず、防虫ネットを使用するなど工夫しながら農薬を慣行の半分以下に抑えて栽培している。ハウス栽培で葉が柔らかいため、葉付きで出荷されている。根の部分も肌が透き通るように白くきめ細やかで、甘みが高いと好評である。出荷時期12月上旬～2月上旬	倉吉市
6	極実すいか	すいかの栽培はゆうがお台木にすいかの穂木を接ぎ木して栽培することが多いが、極実すいかは、すいか台木を使用した苗で栽培している。すいか本来の味が楽しめ、シャリ感があり、まろやかで甘いすいかとして人気が高い。出荷時期6月下旬～7月中旬、9月上旬～9月下旬	倉吉市
7	大原トマト	土づくりには特にこだわり有機質肥料を使った栽培に力をいれている。また、とことん水を切った健苗育苗により減農薬栽培を行っている。糖度が高く食味が良いという事で「大原トマト」のブランドとして定着している。出荷時期4月下旬～6月中旬	倉吉市
8	トマトケチャップ (トマトビュレを含む)	倉吉市大原産 生食用品種トマト使用。出荷時期6月中旬～翌年3月	倉吉市
9	梅のうま漬け	倉吉市、湯梨浜町産野花豊後、紅さしを中心に中部産の梅を加工。	倉吉市
10	焼きかき餅	かき餅を油を使わずレンジで加熱したヘルシーなお菓子。主にJA直売所にて通年販売。	倉吉市
11	三朝トマト	高冷地での夏秋トマト栽培、標高が高いため昼夜温の差が非常に大きく、良食味のトマト生産が可能となっている。出荷時期8～11月	三朝町
12	山椒(さんしょう)	三朝町の古くからの特産 出荷時期6月中・下旬	三朝町
13	つるし柿	三朝町の古くからの特産 出荷時期12月	三朝町
14	とんがり燻製(くんせい)	サバ、豆腐、鶏肉などを桜の木で燻製に。	三朝町
15	もめん豆腐「神のはな」	一般の大豆に比べイソフラボン含有量が高い三朝町産地大豆「三朝神倉」を使用した豆腐。田舎茶屋縁満で提供・販売。	三朝町
16	豆乳「神のしずく」	一般の大豆に比べイソフラボン含有量が高い三朝町産地大豆「三朝神倉」を使用した豆乳。	三朝町
17	納豆「神のつぶ」	三朝町産地大豆「三朝神倉」を使用した納豆。	三朝町
18	大豆水煮「神のつぶみ」	三朝町産地大豆「三朝神倉」を使用した大豆の水煮	三朝町
19	どら焼き「神の笑み」	三朝町産地大豆「三朝神倉」を使用した大豆餡のどら焼き	三朝町
20	ペルルメロン	甘く後味がすっきりとしたネットメロン。1株につき2果着果のため、他のペルルメロンと比較して大きい。出荷時期6月下旬～7月中旬	湯梨浜町
21	クレオパトラメロン	果色が黄色で大型のノーネット系メロンでさっぱりとした甘さが特徴。外観がきれいであり、進物用としての需要も多い。出荷時期5月下旬～6月下旬	湯梨浜町
22	わかば農法いちご	化学肥料を使用せず、栄養のバランスを考えた細かい肥培管理が特徴。独自ブランド「わかば農法」(湯梨浜町泊地区が発祥で、県下に広まる)で栽培されている。出荷時期11～6月	県内全域
23	慶寿梨	樹齢70年以上で長寿木として「湯梨浜町二十世紀梨を大切に育てる町づくり委員会」が認定した二十世紀梨の樹からのみ収穫。出荷時期9月上・中旬	湯梨浜町
24	梨(鶴の舞)	東郷果実部の二十世紀梨の最高級進物品。出荷時期9月上・中旬	湯梨浜町
25	梅(野花豊後)	大きいもので果肉が直径5cmにもなる肉厚・大玉品種で、近年梅酒などの加工品も人気。 出荷時期6月上旬～下旬	湯梨浜町
26	するめのこうじ漬け	糴とするめがまろやかな味を作りだしている。	湯梨浜町
27	梨シロップ	湯梨浜町産梨の果汁だけを使いじっくり煮詰めたシロップ。古くから梨はのどに潤いを与えると言われていた。	湯梨浜町
28	ハーブ塩・バジルソース	自社農園で栽培したフレッシュハーブを使用した香り豊かなハーブ塩やバジルソース。	湯梨浜町

4-2 こだわり農産物・加工品一覧表(東伯農業改良普及所管内)

No.	品目名	特 長	市町村等
1	紙マルチ米	田面を紙マルチで覆うことにより、雑草の発生を抑制(除草剤不使用)。無農薬・無化学肥料栽培 ※県外出荷のみ。	琴浦町 東伯地区
2	ゴールド21	半無袋栽培のゴールド二十世紀。小袋1回掛けで栽培し、樹上完熟させた梨。糖度が1度程度高い。 出荷時期は9月上旬～中旬。	琴浦町 東伯地区
3	シルバーベル	洋梨のシルバーベルを網掛け栽培。食べた人が喜ぶ梨づくり(美味しい梨づくり)を目指している。 出荷時期は11月上旬～2月末。	琴浦町 赤碕地区
4	皇帝の響き	二十世紀の赤秀(等級の中で最も良いとされているもの)の3Lを再選果して出荷する最高級品。	琴浦町 東伯地区
5	ブルーベリー (リーフティー)	バッグ栽培システムにより栽培。生果とともに、リーフティー(葉と果実を乾燥・粉碎したお茶)をはじめとする加工品を販売している。	琴浦町 赤碕地区
6	赤碕エリザベスメロン	肥料はすべて有機質肥料を使い、栽培をおこなっている。特に味へのこだわりは厳格で、糖度検査と食味検査で完熟が確認されてから、出荷可否が決められる。味の良さから進物、直売の比率が高い。 出荷時期は6月。	琴浦町 赤碕地区
7	黒皮すいか「がぶりこ」	果実の表面が黒くて、糖度が一般スイカより1～2度高く、さらに種が少なくて食べやすい。 出荷時期は6月～7月。	琴浦町 東伯地区
8	岸田牧場「牛乳便り」	放し飼い牛舎で飼育し、選びぬいた飼料で育てた牛から搾った牛乳。	琴浦町
9	たらのめ	春の山菜として親しまれているタラノメを、ハウス栽培で1月から3月にかけて出荷している。	琴浦町 東伯地区
10	トマトケチャップ	会員が栽培したトマトと地元産のトマトを使い、調味料を最低限におさえ、トマトの味を大事にしながらじっくり煮ました。出荷時期は7月～4月。	琴浦町
11	ミニトマトジュース	新鮮なミニトマト果汁100%、甘くて濃厚。塩量は少な目で、フレッシュ、限りなく青果に近い味わいです。トマトジュースが苦手な方も美味しく飲めると大好評。出荷時期は7月～12月(なくなりしだい終了)。	琴浦町
12	ミニトマトケチャップ	新鮮なミニトマト本来の甘みを大切に新鮮かつコクのある味。スパゲティやピザなどどんな料理にもピッタリです。出荷時期は7月～12月(なくなりしだい終了)。	琴浦町
13	かきもち	会員達が丹誠を込めて作ったのはで干しのもち米を使い、添加物は使わず、6種類(ヨモギ、紫芋、ゆずジャム、トチの実、干しエビ、ごまのり)の材料を混ぜ込んで作りました。出荷時期は冬期。	琴浦町
14	ジゲの酒「うまいがな」	鳥取県特裁認証制度に沿って生産された北栄町産玉栄を使用。	北栄町
15	ハニービーナス	黄緑色のブドウで、糖度が巨峰より2度も高く、大変甘みが強い。出荷時期は8月上～中旬。	北栄町
16	小玉すいか	皮がとて薄く甘い果肉がぎっしりつまっていて、シャリシャリとした歯ざわり、また一度に食べきれず手頃な大きさ。出荷時期は9月～10月。	北栄町 大栄地区
17	砂丘美人(白ねぎ)	従来の白ねぎとは異なり、葉も食べられるねぎとして販売。出荷時期は12月～2月。	北栄町
18	玉ラッキョウ	北条砂丘地域特産のらっきょう。(全国的にも徳島の鳴門地域と北条砂丘地域くらいしか栽培されていない。)ラクダ系に比べ、小粒で丸く、緻密な歯ごたえがあり、関西市場で人気がある。 出荷時期は5月～6月。	北栄町
19	ねばりっこ	鳥取県が開発したヤマノイモ。イチョウ芋と長芋の交配種で長芋よりねばりが強く、食味に優れる。また、イチョウ芋よりもとろろに適した粘りと加工しやすい形状が特徴。「お手軽ギフトBOX」がみやげ用として人気です。	北栄町
20	抑制シンテッポウユリ	園芸試験場で開発された作型で、9月～翌年1月にかけて出荷する(全国的にも大変珍しい)。	北栄町
21	葡萄ゼリー	ぶどう果汁たっぷりのゼリーにワインと北条砂丘ぶどうが丸ごと入った風味豊かなゼリー。	北栄町

No.	品目名	特長	市町村等
22	砂丘長芋せんべい	生地に特産の砂丘長芋を練り込んだせんべい。トッピングとして長芋や季節の野菜など数種類あります。	北栄町
23	米粉パン・米粉クッキー	北栄町産の米と特産野菜(すいか、ほうれん草、紫芋等)を組み合わせ、現代の嗜好にあう加工品にしました。	北栄町
24	ラッキョウ漬	砂丘らっきょうを丁寧に漬け込んだ逸品。特産の玉らっきょうを原料としています。	北栄町
25	すいか糖・すいかジャム	北栄町の特産品大栄スイカの果汁をギュッと濃縮した一品です。	北栄町
26	焼肉のたれ	北栄町産の葡萄又は梨を入れた手作りの焼肉のたれです。	北栄町
27	トマトケチャップ	加工グループ員が栽培から加工まで手がけたトマトケチャップ。	北栄町
28	トマトペースト	北栄町産の中玉トマトを何も加えずそのままギュッと濃縮しました。	北栄町
29	鳥取産スイカチューハイ	大栄スイカの果汁を使用。通常の缶入りチューハイと比べて果汁比率が高く、スイカのみずみずしさとさっぱりとした味わいが特長。	北栄町
30	ねばりっこチップス	鳥取県の育成品種である砂丘地特産の”ねばりっこ”をパリッと揚げました。	北栄町
31	シャインマスカット	黄緑色のブドウでマスカットの芳醇な香りと高糖度が魅力。皮ごと食べられ、見栄えが良く贈答品としてお勧め。出荷時期は9月。	北栄町 琴浦町
32	ぼろたん(粟)	鬼皮に包丁などで傷をつけ電子レンジなどで加熱処理すると渋皮がきれいにとれる大粒の早生クリ品種。出荷時期は9月。	琴浦町
33	輝太郎(柿)	鳥取県が育成した早生の甘柿。大玉で糖度が高く、出荷時期は9月下旬から10月中旬。	北栄町 琴浦町
34	ミディトマトジュース	北栄町産の中玉トマト100%ジュース。食塩不使用。H26年度食のみやこ特産品コンクールで優秀賞を受賞しました。	北栄町

参考①

JAS認定における有機農産物とは、化学合成農薬、化学肥料、化学合成土壌改良資材の使用を中止してから播種又は植付け前2年以上(果樹などの多年生作物は、最初の収穫前3年以上)経過し、堆肥等による土づくりを行ったほ場において収穫された農産物です。

参考②

鳥取県特別栽培農産物認証制度は、国の「特別栽培農産物に係る表示ガイドライン」に基づき、各地域の慣行基準に比べ農薬や化学肥料を削減するなど一定の要件を満たして生産された農作物を、特別栽培農産物として、鳥取県が認証するものです。この制度によって、消費者の信頼を高めるとともに、環境にやさしい農産物の生産を進めます。

5 認定農業者の認定基準と認定農業者数の推移

(1) 管内農業経営モデル（認定農業者）と青年等モデル（認定就農者等）の年間労働時間及び所得目標の基準

	農業経営モデル	
	年間労働時間	年間農業所得
倉吉市	主たる従事者1人当たり1,800時間程度	主たる農業従事者1人当たり380万円程度
三朝町	主たる従事者1人当たり概ね1,800時間	主たる従事者1人当たり概ね340万円以上
湯梨浜町	主たる従事者1人当たり概ね1,800時間	主たる従事者1人当たり概ね380万円以上
北栄町	主たる農業従事者1人当たり1,900時間程度	主たる農業従事者1人当たり380万円程度
琴浦町	主たる農業従事者1人あたり概ね1900時間	1経営体あたり概ね400万円

	青年等モデル	
	年間労働時間	年間農業所得
倉吉市	主たる農業従事者1人当たり1,800時間程度	主たる従事者1人当たり300万円程度
三朝町	主たる従事者 概ね1,800時間	主たる従事者1人当たり概ね250万円以上
湯梨浜町	主たる従事者1人当たり概ね1,800時間	主たる従事者1人当たり概ね300万円以上
北栄町	主たる農業従事者1人当たり1,900時間程度	主たる農業従事者1人当たり300万円程度
琴浦町	主たる農業従事者1人あたり概ね1,900時間	1経営体あたり 250万円以上

□資料：農業振興課調べ 平成26年10月1日現在

(2) 管内認定農業者数の推移

管内の認定農業者数は、平成29年度末で479経営体であり、県全体の約47%を占めています。

市町名	H25年度		H26年度		H27年度		H28年度		H29年度	
倉吉市	150	(20)	147	(20)	146	(22)	147	(23)	146	(23)
三朝町	16	(3)	19	(3)	20	(4)	16	(4)	16	(4)
湯梨浜町	37	(2)	35	(2)	41	(3)	45	(5)	44	(5)
琴浦町	150	(8)	158	(12)	166	(15)	165	(17)	162	(20)
北栄町	135	(10)	121	(11)	105	(10)	107	(12)	111	(12)
中部計	488	(43)	480	(48)	478	(54)	480	(61)	479	(64)
県計	1,027	(133)	1,034	(155)	1,046	(170)	1,030	(199)	1,029	(213)

注) () はうち法人数

□資料：農業振興課調べ 平成30年3月末現在

6 家族経営協定数の推移

管内の家族経営協定締結数は平成29年度末で191件であり、県下の全家族経営協定締結数の約60.8%を占めています。

○管内家族経営協定数の推移

市町名	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
倉吉市	21	24	22	22	24
三朝町	1	2	2	2	3
湯梨浜町	1	2	3	4	4
琴浦町	34	43	47	48	50
北栄町	102	109	105	108	110
中部合計	159	180	179	184	191
県内合計	243	281	290	302	314

□資料：県とっとり農業戦略課調べ 平成30年3月末現在

7 新規就農者の動向

(1) 管内における新規就農者数の推移

(単位：人)

	H25	H26	H27	H28	H29	計
倉吉市	3	7	5	11	7	33
湯梨浜町	2	1	5	1	5	14
三朝町	1	0	1	0	0	2
北栄町	8	8	7	6	5	34
琴浦町	2	4	5	8	5	24
中部計	16	20	23	26	22	107
県計	42	56	62	61	49	270

□経営支援課まとめ 平成30年3月末時点

- ・管内の新規就農者数(自営)は、H25～H29通算で107名で、同期の県下の新規就農者数(自営)270名のうち40%
- ・経営支援課による暦年(1.1～12.31)調査
- ・認定新規就農者以外も含む市町村報告数値

(2) 管内における法人等就農者数(農の雇用事業採択数)の推移

(単位：人)

	H25	H26	H27	H28	H29	計
倉吉市	10	7	14	15	12	58
湯梨浜町	0	0	2	1	2	5
三朝町	1	0	0	0	0	1
北栄町	15	11	8	13	23	70
琴浦町	5	4	4	4	9	26
中部計	31	22	28	33	46	160
県計	80	69	74	80	112	415

□経営支援課まとめ 平成30年3月末時点

- ・管内のH25～H29累積採択数は160名で全県の38.6%
- ・数値は採択数であり、採択後、中止等となった者を含みます。

【参考】管内における木材産業事業体新規就労者数（木材産業雇用支援事業対象者数）の推移

管内の木材産業雇用支援事業対象者は、平成24年度から通算して37名であり、県全体の対象者数186名の内約20%を占めています。

(単位：人)

区分	H24	H25	H26	H27	H28	H29	計
倉吉市	3	3	0	0	1	1	8
湯梨浜町	0	0	0	0	0	0	0
三朝町	0	0	0	0	0	0	0
北栄町	6	7	6	3	3	4	29
琴浦町	0	0	0	0	0	0	0
中部計	9	10	6	3	4	5	37
県計	36	38	50	29	25	8	186

8 企業の農業参入

高齢化や耕作放棄地の増大など、農業の現場では多くの課題をかかえています。しかし、消費の場面では、食の安全安心について関心が高まることに伴い、国産農産物が見直され、農業はビジネスの面からも注目されています。

中部管内でも、平成 16 年頃より新たに農業に参入する企業が現れるようになりました。平成 17 年 9 月からは農業経営基盤強化促進法による「特定法人貸付事業」により、区域は限定されるもの株式会社等が農地賃借ができるなど農業に参入しやすくなりました。

また、平成 21 年 12 月 15 日に「農地法の一部を改正する法律」が施行されたことに伴い、参入区域の限定がなくなるなど規制がさらに緩和され、今後ますます農業に参入する企業は増加するものと見込まれます。

企業の農業参入による社会的効果として、①雇用の維持、創出効果、②耕作放棄地の解消効果、③投資効果、④地域農業の活性化・競争力の強化などがあげられます。

市町名	法人名	参入企業等の業種	営農類型	備考
倉吉市	(有) グリーンファーム	JA	水稻、野菜、作業受託	農業生産法人、農の雇用
	(株) アグリテール大黒	JA	野菜	農業生産法人、農の雇用
	(株) A&E	清掃業	トマト	農の雇用
	明倫まちづくり合同会社	まちづくり	蜜源作物	解除条件付き貸借
	(社) 和	社会福祉	野菜	解除条件付き貸借
	(株) ローソンファーム鳥取	コンビニ	野菜	農業生産法人(米子)
	(株) リノベートアグリおがも	農業	野菜	解除条件付き貸借
	(有) ワールドファーム	加工野菜	野菜	農業生産法人
	KISHIDA総業(株)	建設業	野菜	企業参入事業
三朝町	(有) グリーンサービス	JA	水稻、作業受託	農業生産法人
湯梨浜町	ワークサポート敬仁会館	福祉作業所	野菜、きのこ類	農福連携マッチング*
	(株) 真木自動車	販売業	野菜	解除条件付き貸借
	(有) 北村設備	建設業	野菜	解除条件付き貸借
	(株) センコースクールファーム	運送業	野菜、きのこ類	障がい者雇用、解除条件付き貸借
	(公財) 湯梨浜町シルバー人材センター	サービス業	野菜	解除条件付き貸借
	(株) ネクステファーム	食品関連	野菜、水稻	解除条件付き貸借
	合同会社EQ	サービス業	野菜	解除条件付き貸借
琴浦町	馬野建設(株)	建設業	果樹、野菜	解除条件付き貸借
	鳥取部品(株)	製造業	野菜、栗	解除条件付き貸借
	(株) 地輝	建築業	野菜	農業生産法人
北栄町	(株) フジオファーム	食品関連	野菜	企業参入事業
	(有) ワールドファーム	加工野菜	野菜	農業生産法人
	(株) アール企画	建設関連	黒大豆	特定農地貸付、解除条件付き貸借
	(株) エナテクスファーム	建設関連	常緑キリンソウ	解除条件付き貸借
	合同会社ふれあい	医療福祉	野菜	解除条件付き貸借
	TIES	福祉作業所	農作業受託	農福連携マッチング*

□資料：農業振興課調べ 平成29年12月31日現在

9 集落営農組織について

集落など、まとまりのある一定の地域内の農家が、農業生産について共同で取り組む組織のことを集落営農組織と言います。

機械の所有形態や組織の運営方法、生産調整などを含む農地の利用調整、経理の仕方や法人化の有無などで様々なパターンがみられます。

中部管内でも各地で組織設立に向けた話し合いが進められています。

【農業機械・農地の利用方法による分類】

- ①機械の共同利用組織
共同で農業機械を所有・利用して効率的な生産体制を確立する
- ②農作業受託組織
共同で導入した機械を使い、農作業を受託する。
- ③1集落1農場
農地をまとめて一農場として考え、農地を団地化し、有効活用する。

【組織の形態による分類】

- ①任意のグループ
- ②代表や規約を持つ任意組織
- ③経理を一元化し、法人化の計画のある組織
- ④経営を法人化した組織

【農地利用集積についての合意の有無】

《特定農業団体・特定農業法人》

農地利用集積の対象として、農地利用改善団体による特定農用地利用規定への位置づけが有る集落営農組織、法人のこと

○管内の集落営農組織数

市町名	任意組織 (非法人)	法人組織
倉吉市	27	13
三朝町	9	2
湯梨浜町	13	0
琴浦町	13	4
北栄町	17	4
中部計	79	23
県計	236	84

□平成30年集落営農実態調査（農林水産省、平成30年2月1日現在）より

10 中山間地域等直接支払の状況

中山間地域は農地の傾斜など農業生産条件が不利なため、耕作放棄地の増加が懸念されることから、農業生産活動の維持と農業の多面的機能の確保を図ることを目的に、中山間地域等直接支払制度が平成12年度に始まりました。

平成27年度からは、急傾斜地の農用地保全・活用を支援する第4期対策（H27年度～H31年度）が実施されています。

◇交付単価（円／10a）

田 急傾斜（1/20以上）21,000円、緩傾斜（1/100以上）8,000円

畑 急傾斜（15°以上）11,500円、緩傾斜（8°以上）3,500円

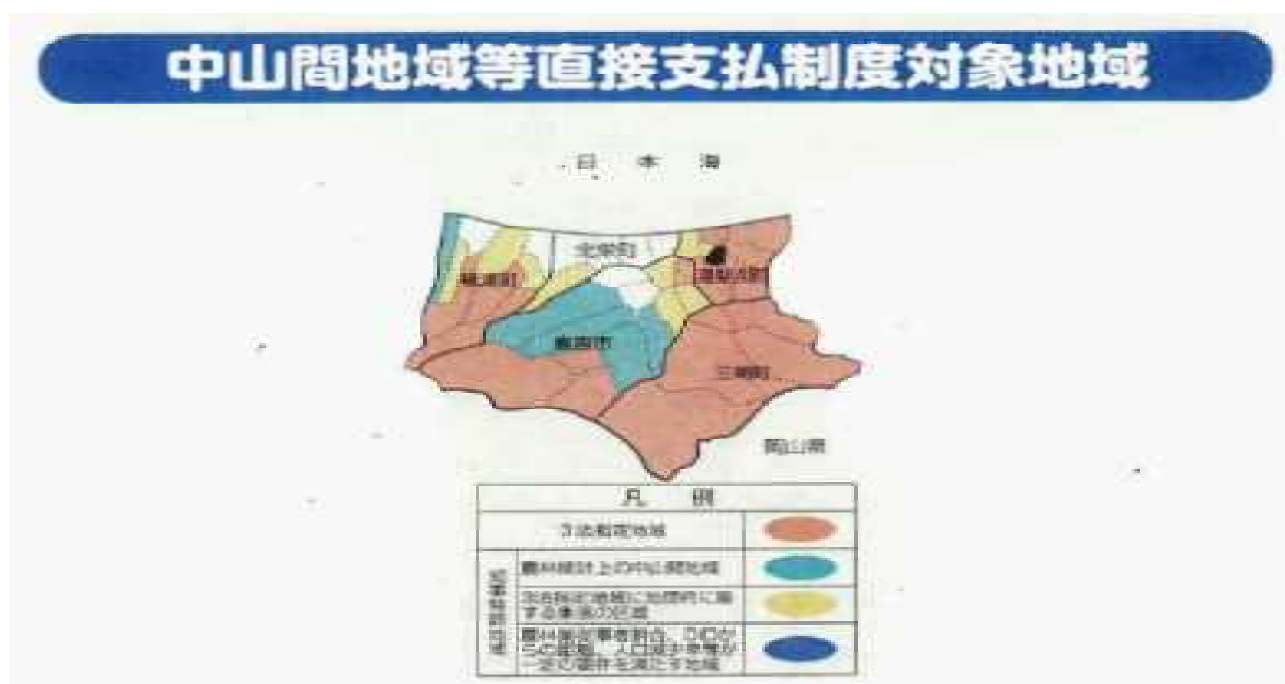
協定面積（平成30年度）

（単位：ha）

区分	市町名	協定数	協 定 面 積						合 計	
			3 法 指 定 地 域				特 認 地 域			
			田	畑	採草 放牧地	計	田	畑		計
集落協定	倉吉市	50	371			371	264		264	635
	三朝町	33	396			396				396
	湯梨浜町	4	16	10		26				26
	琴浦町	24	427	6		433	3		3	436
	北栄町	1				0	3		3	3
全体	中部計	112	1,210	16		1,226	270	0	270	1,496
	県計	641								7,945

資料：H30中山間直接支払調べより

注)3法とは①特定農山村法②山村振興法③過疎法を指します。



1.1 畜産の動向

(1) 乳用牛

酪農経営では、中部地区は戸数及び頭数共に県下の約5割を占める。戸数は特に小規模農家の廃業により、対前年1戸減（全県5戸減）と年々減少傾向、飼養頭数は若干の減少はあるものの、経産牛は維持傾向にある。

（単位：戸、頭、％）

区 分	中部地区		県		県内占有率
		前年比		前年比	
経営戸数	58	98.3	123	96.1	47.2
飼養頭数	4,781	98.2	8,819	97.4	54.2
うち経産牛頭数	3,137	100.5	5,877	99.0	53.4

資料：家畜飼養状況調査、H30.2.1県畜産課

(2) 肉用牛

肉用牛経営では、中部地区は戸数で県下の約4割、頭数で約6割を占める。特に交雑種、乳牛肥育頭数においては、全県の8割を占めている。肉用牛では全国に通用する種雄牛の造成により、和子牛相場は依然として高騰しており、繁殖経営の増頭は進んでいるが、逆に肥育経営では導入素牛の高騰により飼養頭数は減少傾向にある。

（単位：戸、頭、％）

区 分	中部地区		県		県内占有率		
		前年比		前年比			
肉用牛経営戸数	122	99.2	312	99.0	39.1		
飼養頭数	総頭数	11,014	98.2	18,681	100.4	59.0	
	繁殖	繁殖雌牛頭数	2,072	112.3	4,982	111.8	41.6
		うち24ヶ月齢以上	1,258	118.5	3,072	113.9	41.0
	肥育	和牛	2,854	92.0	6,220	98.1	45.9
		乳牛・交雑牛	6,088	97.1	7,485	95.8	81.3

資料：家畜飼養状況調査、H30.2.1県畜産課

(3) 豚

養豚経営では、中部地区及び全県で戸数及び頭数が減少している。

（単位：戸、頭、％）

区 分	中部地区		県		県内占有率
		前年比		前年比	
経営戸数	13	92.9	23	88.5	56.5
飼養頭数	15,197	90.5	64,383	93.8	23.6

資料：家畜飼養状況調査、H30.2.1県畜産課

(4) 鶏

採卵鶏は羽数が減少傾向、肉用鶏及び種鶏は企業経営を中心に飼養され、戸数、羽数共に微増している。

（単位：戸、羽、％）

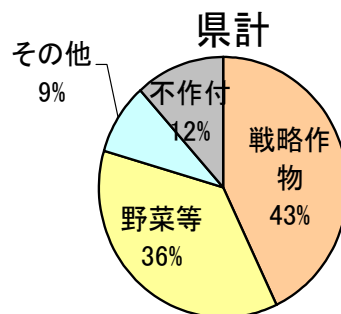
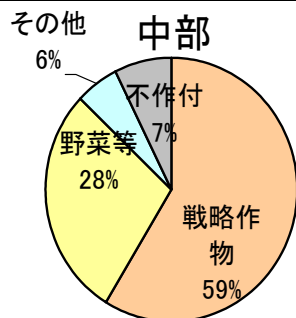
区 分	中部地区		県		県内占有率	
		前年比		前年比		
経営戸数	34	106.3	84	102.4	40.5	
飼養羽数	1,841,429	105.7	3,890,963	99.9	47.3	
	採卵鶏	30,277	98.4	562,488	99.5	5.4
	種鶏	76,530	99.9	147,465	100.5	51.9
	肉用鶏	1,734,622	106.2	3,181,010	102.7	54.5

資料：家畜飼養状況調査、H30.2.1県畜産課

1 2 転作作物の作付状況(平成29年)

(単位:ha)

品目	倉吉市	三朝町	湯梨浜町	北栄町	琴浦町	中部計	転作作物に占める割合(%)	県計	転作作物に占める割合(%)	
主食用米	1,445.3	294.7	397.5	559.7	647.2	3,344.4	—	12,378.8	—	
戦略作物等	加工用米	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	95.9	1.2	
	備蓄米	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.9	1.3	
	米粉用米	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	
	飼料用米	179.8	6.2	25.8	69.6	25.2	306.6	14.5	1,086.1	13.5
	WCS用稲	4.0	0.8	0.0	31.0	57.7	93.5	4.4	372.0	4.6
	酒米(外数)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
	麦	37.6	0.3	0.0	63.4	19.4	120.7	5.7	144.5	1.8
	大豆	157.8	36.8	59.9	81.4	16.9	352.8	16.6	707.4	8.8
	飼料作物	169.4	23.1	0.1	56.3	81.4	16.9	0.8	1,117.0	13.9
	小計	548.6	67.2	85.8	301.7	200.6	1,203.9	56.8	3,624.1	45.0
野菜等	そば	7.3	0.4	0.2	0.2	8.5	16.6	0.8	333.1	4.1
	なたね	0.8	0.0	0.3	0.5	0.0	1.6	0.1	4.9	0.1
	ブロッコリー	1.1	0.0	0.8	2.6	28.6	33.1	1.6	313.3	3.9
	白ネギ	36.2	0.0	0.6	0.3	4.4	41.5	2.0	194.4	2.4
	その他野菜	174.8	35.6	31.9	22.8	66.6	331.7	15.6	1,480.8	18.4
	果樹	3.8	0.2	2.3	0.6	1.4	8.3	0.4	53.6	0.7
	花き・花木	10.4	1.9	1.6	0.6	2.4	16.9	0.8	105.8	1.3
	雑穀	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	40.0	0.5
	豆類	25.3	1.2	0.3	0.2	0.3	27.3	1.3	59.7	0.7
	その他作物	2.7	0.8	0.1	9.0	113.6	126.2	6.0	175.3	2.2
	小計	262.5	40.1	38.1	36.8	225.8	603.3	28.5	2,760.9	34.3
その他	地力増進作物	57.1	1.2	0.4	24.9	22.0	105.6	5.0	537.5	6.7
	景観形成作物等	4.4	0.6	0.1	3.9	3.8	12.8	0.6	97.3	1.2
	小計	61.5	1.8	0.5	28.8	25.8	118.4	5.6	634.8	7.9
転作作付面積計		872.6	109.1	124.4	367.3	452.2	1,925.6	90.8	7,019.8	87.1
不作付	自己保全管理	82.7	19.2	26.9	24.5	14.2	167.5	7.9	893.6	11.1
	調整水田	6.2	0.8	8.3	7.3	0.3	22.9	1.1	94.3	1.2
	その他	3.3	0.5	0.7	0.1	0.0	4.6	0.2	52.5	0.7
不作付面積計		92.2	20.5	35.8	31.9	14.5	194.9	9.2	1,040.4	12.9
合計		964.8	129.6	160.2	399.2	466.7	2,120.5	100.0	8,060.2	100.0



【中部地区の転作の特徴】

- 戦略作物が約6割を占め、飼料作物、大豆の割合が高い。
- 野菜等が約3割を占める。
- 不作付けの割合が少ない。

1 3 梨の現状と振興方策

(1) 中部地区の現状

- ◆ 県の約6割を占める主要産地
県全体の梨栽培面積に対して、中部地区は約6割を占める梨の主要産地である。
- ◆ 新品種の導入
二十世紀梨が中心品種であるが、新甘泉等の新品種の導入も進んでいる。
- ◆ 栽培面積は減少傾向
栽培面積は、年々少しずつ減少している。

平成29年度梨栽培面積

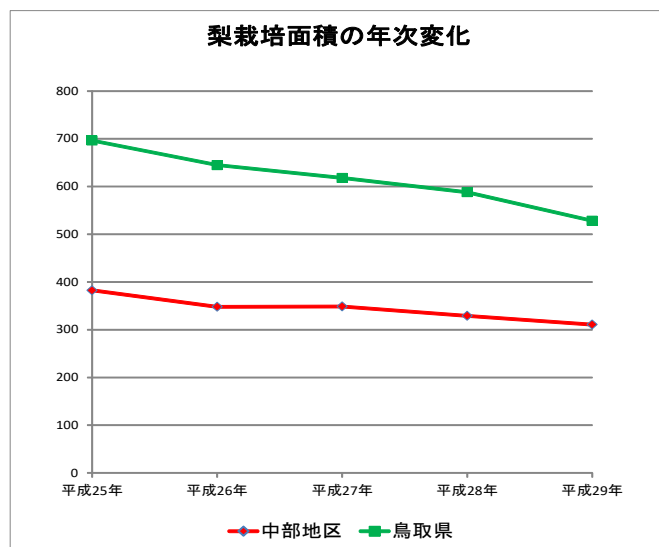
品種	区分		鳥取県(ha)	備考
	中部地区(ha)	鳥取県に占める割合		
二十世紀	186.6	62.0%	300.76	
ハウス二十世紀	14.5	75.2%	19.27	
新甘泉	33.7	53.4%	63.15	
なつひめ	13.2	65.7%	20.08	
その他品種	62.8	50.2%	125	
合計	310.8	58.8%	528.26	

※データ出典

- ・中部地区: JA鳥取中央販売課 栽培面積とりまとめ表
- ・鳥取県: 全農とっとり果実課 栽培面積とりまとめ表

梨栽培面積の年次変化

区分	区		鳥取県(ha)
	中部地区(ha)	鳥取県に占める	
品種			
平成25年	382.5	54.9%	696.3
平成26年	348.1	54.0%	644.7
平成27年	348.7	56.4%	618.0
平成28年	329.0	56.0%	588.0
平成29年	310.8	58.8%	528.3



(2) 振興方策 (平成30年度)

- ◆ 鳥取梨生産振興事業 (単県事業)
新品種・振興品種の生産拡大・高品質化を目的とした生産基盤整備等の支援
- ◆ がんばる農家プラン事業 (単県事業)
意欲ある農業者等が行う創意工夫を活かしたプランの実現を支援

1 4 環境にやさしい農業

◇ 中部管内の特別栽培農産物面積

特別栽培農産物とは、農薬や化学肥料を削減するなど一定の要件を満たして生産された農産物を、特別栽培農産物として、鳥取県が認証するものです。

この制度によって、消費者の信頼を高めるとともに、環境にやさしい農産物の生産を進めています。

【中部地区 特別栽培年度別申請面積】

年度	ha
H25	210
H26	200
H27	182
H28	182
H29	171

【H29年度 品目別面積(ha)】

野菜	21.2
果樹	0.8
水稲	148.8
その他	0.3
計	171.1

□ 数値：中部農林局農業振興課集計（特別栽培申請書記載面積の合計）
平成30年10月22日現在

15 がんばる農家プラン事業（旧チャレンジプラン支援事業）の実施状況

がんばる農家プラン事業（旧チャレンジプラン支援事業）は、元気で意欲のある農業者や企業の農家等が行う創意工夫を生かした取組に対し、農業者等の作成したプラン（営農の計画等）に基づいた効果的な支援を目的として平成16年度から実施されており、平成30年3月末までに認定され支援事業を実施したプランの取組概要等は次のとおりである。

- 1 平成29年度は、11プランの支援を実施している。
うち、新規プランは7、継続プランは4である。
- 2 支援事業費の額は、県補助金で43,763千円である。
- 3 支援事業を実施するプランを分野別にみると、平成29年度は大規模農家などが地域の水田を耕作し、規模拡大を図る取組に関するものと花きの新品種や新技術を導入する取組に関するものが最も多くなっている。

[中部管内における取組内容別のプラン数]

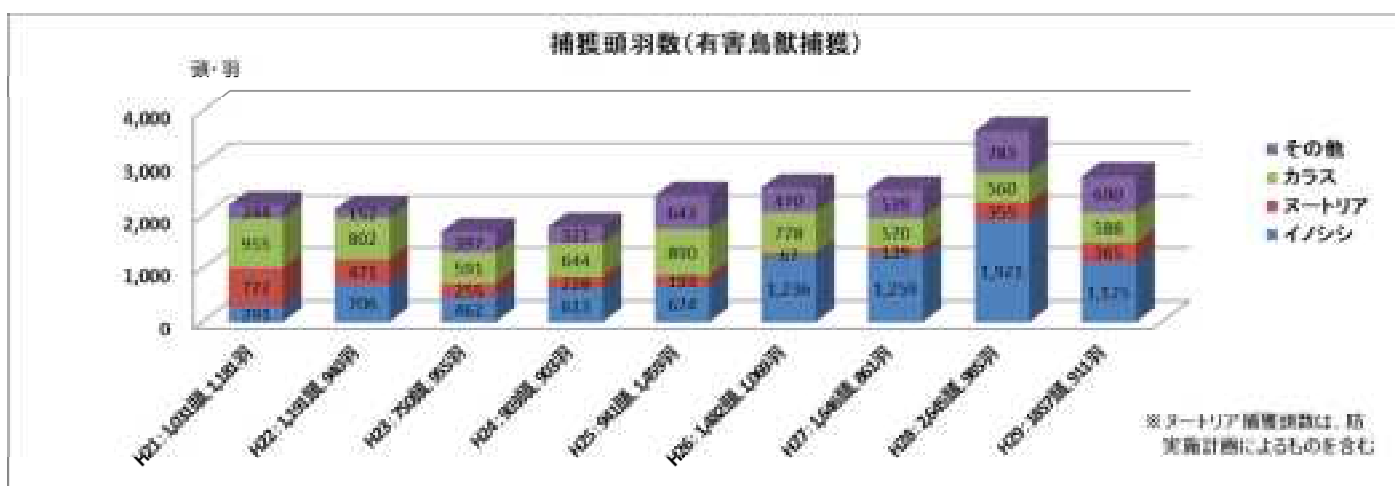
取組内容	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	計
大規模農家などが地域の水田を耕作し、規模拡大を図る取組	2	1	1	1	2	1	4	6	4	22
集落が協力して地域の水田営農を行う取組（集落営農）	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
梨など果樹の産地維持や品質向上を行う取組	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2
スイカ、白ネギなど野菜の高品質生産やブランド力強化を行う取組	7	14	5	10	5	5	4	4	3	57
花きの新品種や新技術を導入する取組	1	2	1	1	1	1	1	1	4	13
耕作放棄地を農地復元し、規模拡大等を行う取組	0	0	0	2	1	0	2	1	0	6
地域で生産された農産物の加工や直売を行う取組	1	0	1	0	0	1	0	0	0	3
原油高騰枠に係る取組	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
計	12	18	8	15	9	8	11	13	11	105

□資料：農業振興課調べ

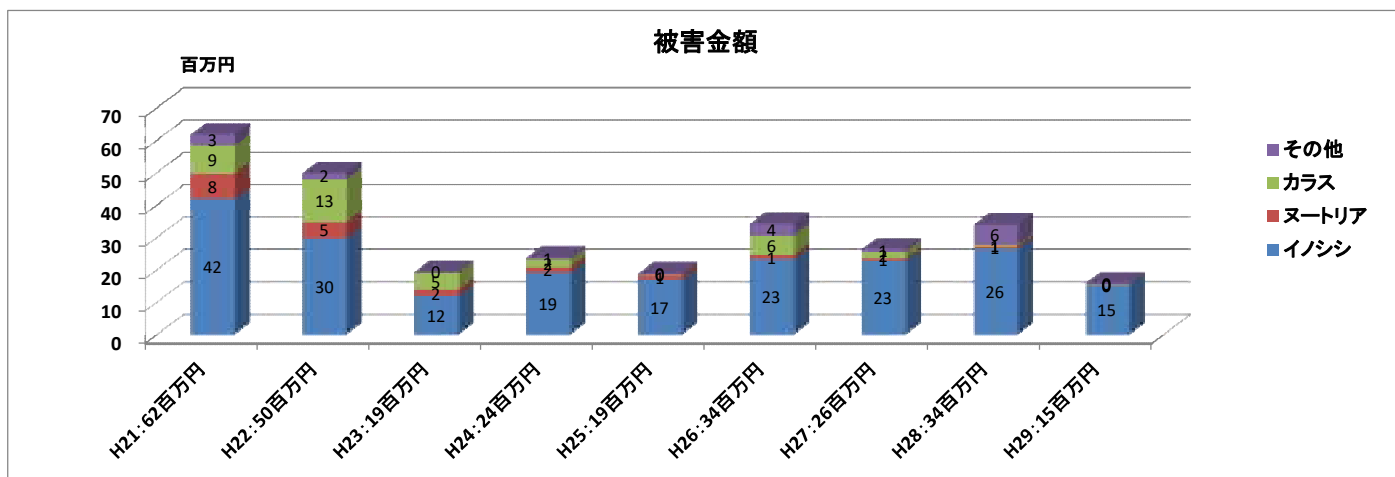
16 鳥獣被害の推移と対策

(1) 鳥獣被害の推移

ア 中部管内の捕獲頭羽数（有害鳥獣捕獲）の推移



イ 中部管内の鳥獣被害金額の推移



□資料：農業振興課調べ

(2) 被害防止対策

ア 鳥取県鳥獣被害総合対策事業（単県）（平成29年度）

①侵入を防ぐ対策

イノシシ等侵入防止柵(電気柵、ワイヤーメッシュ柵等)への助成（県 1/3、市町 1/3）

②個体数を減らす対策

捕獲班員の育成確保、有害鳥獣の捕獲に係る委託料等への助成（県 1/3、市町 1/3）

イノシシ、ニホンジカ、ヌートリア等への捕獲奨励金の交付（県 1/2、市町 1/2）

③集落づくり推進支援対策

集落単位で行う、現地調査、研修会、検討会、侵入防止柵の見回り・修繕等への助成
（定額補助、補助率 県 1/2、市町 1/2、補助上限額 300 千円、）

イ 鳥取県鳥獣被害防止総合対策交付金（国費）（平成29年度）

①推進事業（国 1/2 又は 1 市町当たり 200 万円以内）

地域協議会の会議開催、箱わな・くくりわな・囲いわな・誘導捕獲柵わなの導入等

②整備事業（国 1/2、55/100 又は定額）

鳥獣被害防止施設(ワイヤーメッシュ柵・電気柵等)の設置、捕獲鳥獣の処理加工施設等の整備

ウ 鳥獣被害防止緊急捕獲等対策交付金（国費）（平成29年度）

①推進事業（国定額）

有害鳥獣の捕獲許可を受けて捕獲したニホンジカの捕獲に要した経費等

②整備事業（国 1/2、55/100 又は定額）

既に設置されている被害防止施設の機能向上に要する経費

【事業実績等】

(単位：千円)

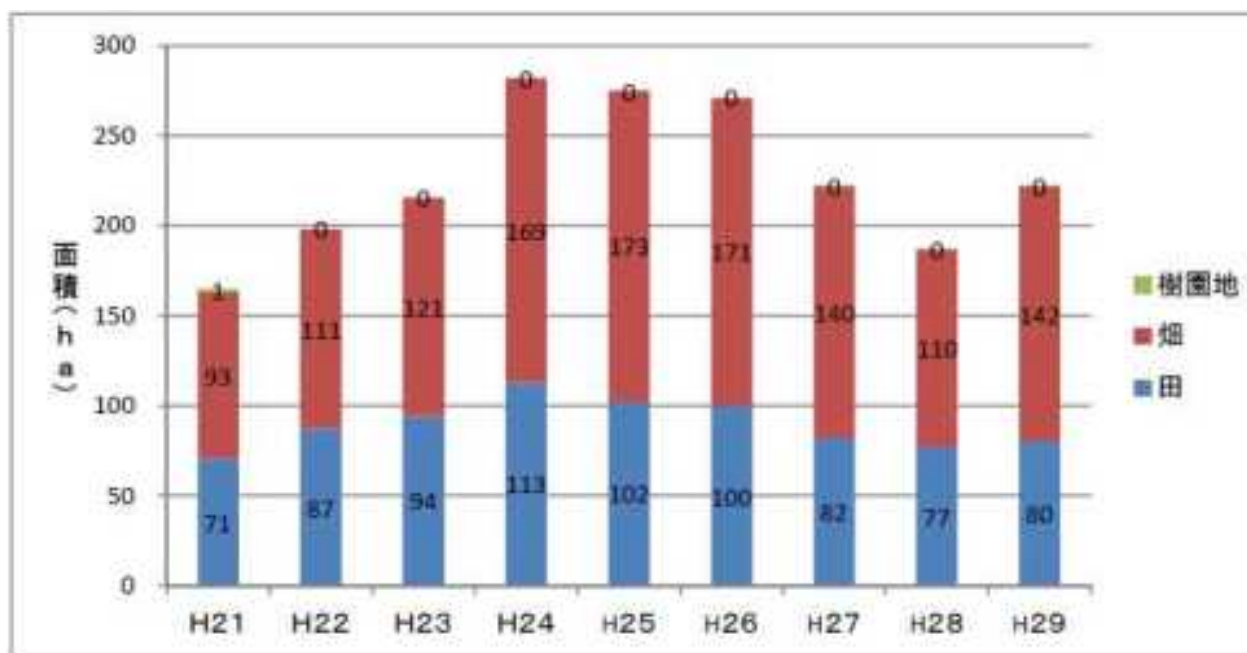
項目(単位)	倉吉市	三朝町	湯梨浜町	琴浦町	北栄町	H29合計
国庫事業費(千円)	8,376	3,804	7,179	216	520	20,095
単県事業費(千円)	22,564	5,743	7,956	6,731	1,491	44,485
県補助金(千円)	8,159	2,591	3,062	2,338	563	16,713
ワイヤーメッシュ柵(m)	7,930	1,500	5,176	780	222	15,608
電気柵(基)	97	7	104	20	0	228
奨励金(頭)	450	429	279	403	88	1,649
※国庫事業は100%国庫負担						

1 7 荒廃農地の状況

再生利用が可能な荒廃農地（A分類）の面積は平成24年度まで増加の傾向にあったものの、平成25年度から減少に転じ、平成28年度には187haまでに減り、平成22年度のレベルにまで解消した。しかしながら、平成29年度には畑地の面積が再び大きく増加している。

荒廃農地に占める畑地の割合は6割程度であり、この傾向に大きな変化はない。

◇中部農林局管内における再生利用が可能な荒廃農地面積の推移

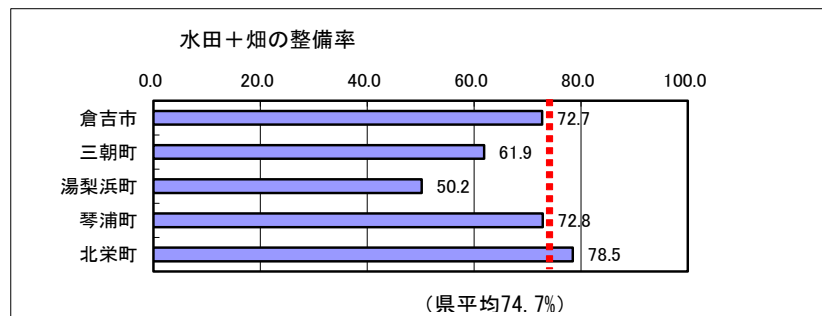
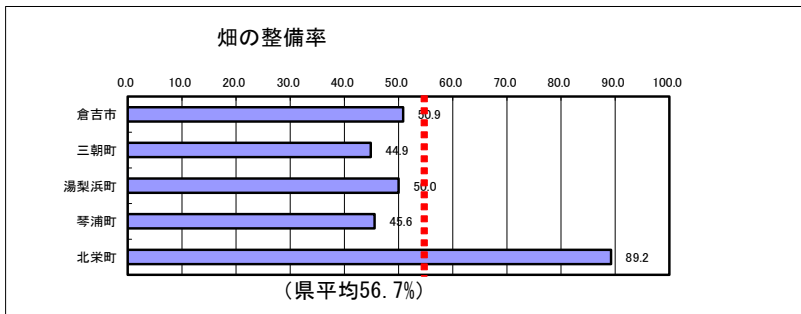
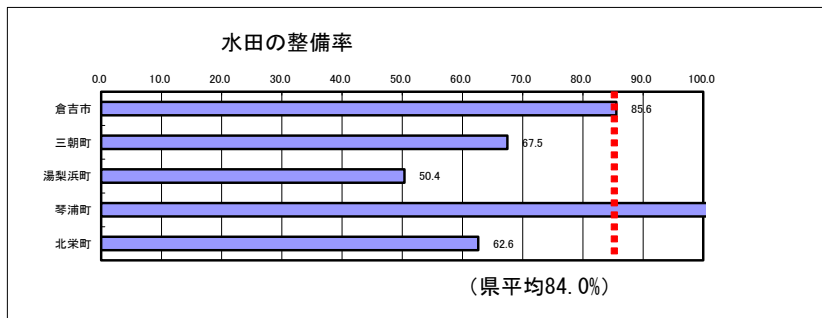


□資料：荒廃農地の発生・解消状況に関する調査

18 ほ場整備率

市町村名	農振農用地面積(H29.12) (ha)			H29年度までの整備済面積 (ha)			H29年度までの整備率 (%)		
	田	畑	計	田	畑	計	田	畑	計
倉吉市	2,208.5	1,293.7	3,502.2	1,889.5	658.1	2,547.6	85.6	50.9	72.7
三朝町	523.9	171.6	695.5	353.4	77.0	430.4	67.5	44.9	61.9
湯梨浜町	675.7	659.4	1,335.1	340.4	329.9	670.3	50.4	50.0	50.2
琴浦町	1,392.4	1,538.3	2,930.7	1,433.7	701.2	2,134.9	103.0	45.6	72.8
北栄町	978.4	1,439.7	2,418.1	612.8	1,284.9	1,897.7	62.6	89.2	78.5
中部地区	5,778.9	5,102.7	10,881.6	4,629.8	3,051.1	7,680.9	80.1	59.8	70.6
県全体	21,343.0	11,090.3	32,433.3	17,932.5	6,290.9	24,223.4	84.0	56.7	74.7

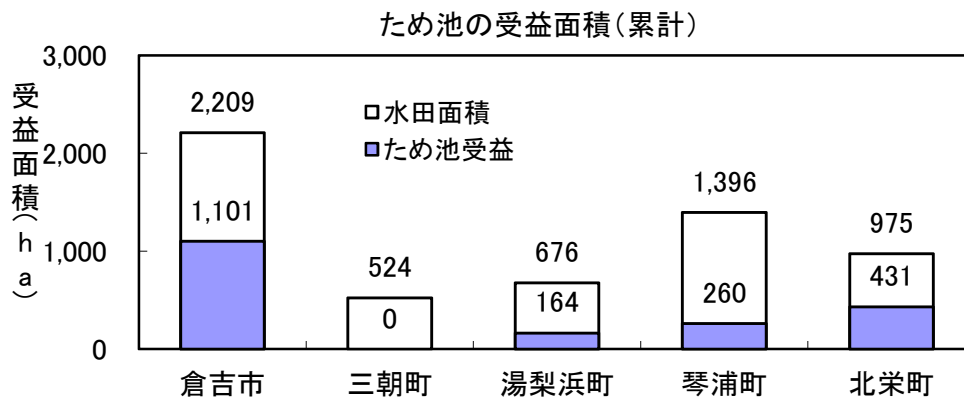
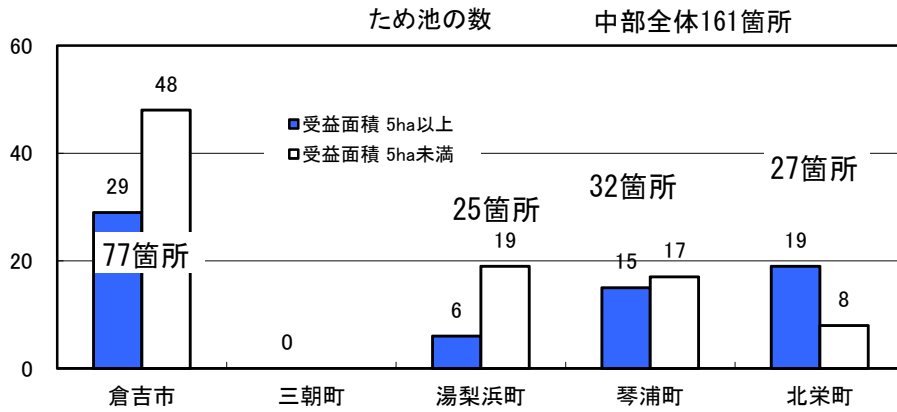
※ 整備済面積は再整備を行った場合の重複計上分や、農振農用地除外等となった場合の未控除分が一部含まれている。



□資料：農地・水保全課調べ

19 中部管内ため池等状況 (H29.10現在)

(1) ため池



(2) 農業用に使用されているダム

ダム名	所在地	有効貯水量(m ³)	堤高(m)
西高尾ダム	北栄町	1,970,000	46.2
船上山ダム	琴浦町	520,000	43.9
小田股ダム	琴浦町	1,950,000	50.0
東郷ダム	湯梨浜町	650,000	39.5



西高尾ダム

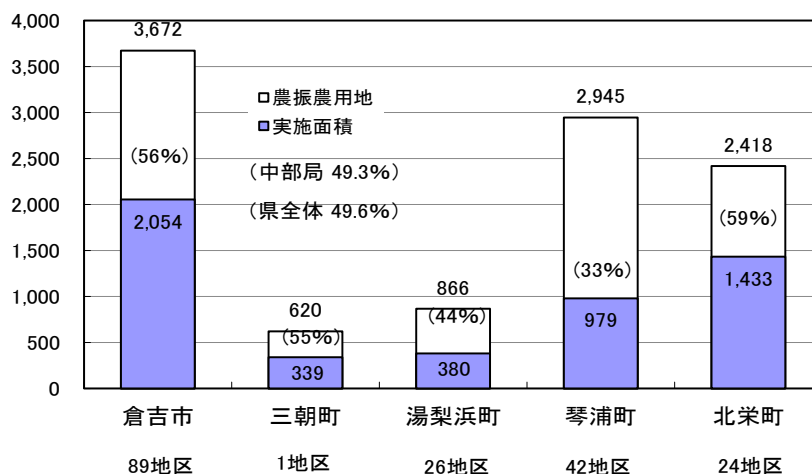


船上山ダム

20 多面的機能支払交付金の実施状況

多面的機能支払交付金は、以下に示す農地維持支払交付金と資源向上支払交付金から構成されます。

農振農用地に対する総取組面積 (ha)



(1) 農地維持支払交付金の概要

(ア) 多面的機能を支える共同活動を支援

■ 農業者等で構成された組織による、地域資源（農地、水路、農道等）の維持、保全や多面的機能を維持する活動に対して支援。

- ・ 農地法面の草刈り、水路の泥上げ、農道の路面維持等の基礎的保全活動。
- ・ 農村の構造変化に対応した体制の拡充・強化、保全管理構想の作成 等。

■ 共同活動支援額 10a 当たり 田：3,000 円 畑：2,000 円 草地：250 円
(負担割合：国 1/2 県 1/4 市町 1/4)

■ 平成 29 年度は中部総合事務所管内の農振農用地 10,521ha のうち、182 組織 5,185ha (49.3%) で実施された。

平成29年度取組 (農地維持)

市町名	活動組織数	対象農地面積 (ha)
倉吉市	89	2,054
三朝町	1	339
湯梨浜町	26	380
琴浦町	42	979
北栄町	24	1,433
局計	182	5,185

(2) 資源向上支払交付金の概要

(ア) 地域資源の質的向上を図る共同活動を支援

■地域住民を含む組織による農村環境の保全活動、多面的機能の増強活動に取り組む活動に対して支援。

- ・水路、農道、ため池等の軽微な補修。
- ・植栽による景観形成、ビオトープ作り。
- ・多面的機能の増進を図る活動。

■向上活動支援額 10a 当たり 田：2,400 円 畑：1,440 円 草地：240 円
(負担割合：国 1/2 県 1/4 市町 1/4)

■平成 29 年度は 105 組織 3,964ha (38%) で実施された。

平成29年度取組（共同活動）

市町名	活動組織数	対象農地面積 (ha)
倉吉市	44	1,371
三朝町	1	339
湯梨浜町	11	192
琴浦町	27	684
北栄町	22	1,378
局計	105	3,964

(イ) 施設の長寿命化のための活動を支援

■地域住民を含む組織による農地周りの水路等農業用施設の長寿命化に取り組む活動に対して支援。

- ・未舗装道路の舗装。
- ・水路の更新等。

■長寿命化活動支援額 10a 当たり 田：4,400 円 畑：2,000 円 草地：400 円
(負担割合：国 1/2 県 1/4 市町 1/4)

■平成 29 年度は 108 組織 3,685ha (35%) で実施された。

平成28年度取組（長寿命化）

市町名	活動組織数	対象農地面積 (ha)
倉吉市	42	1,061
三朝町	1	339
湯梨浜町	12	226
琴浦町	38	934
北栄町	15	1,125
局計	108	3,685

□資料：農地・水保全課資料より

2 2 森林・林業の現状と取組み

(1) 中部の森林資源

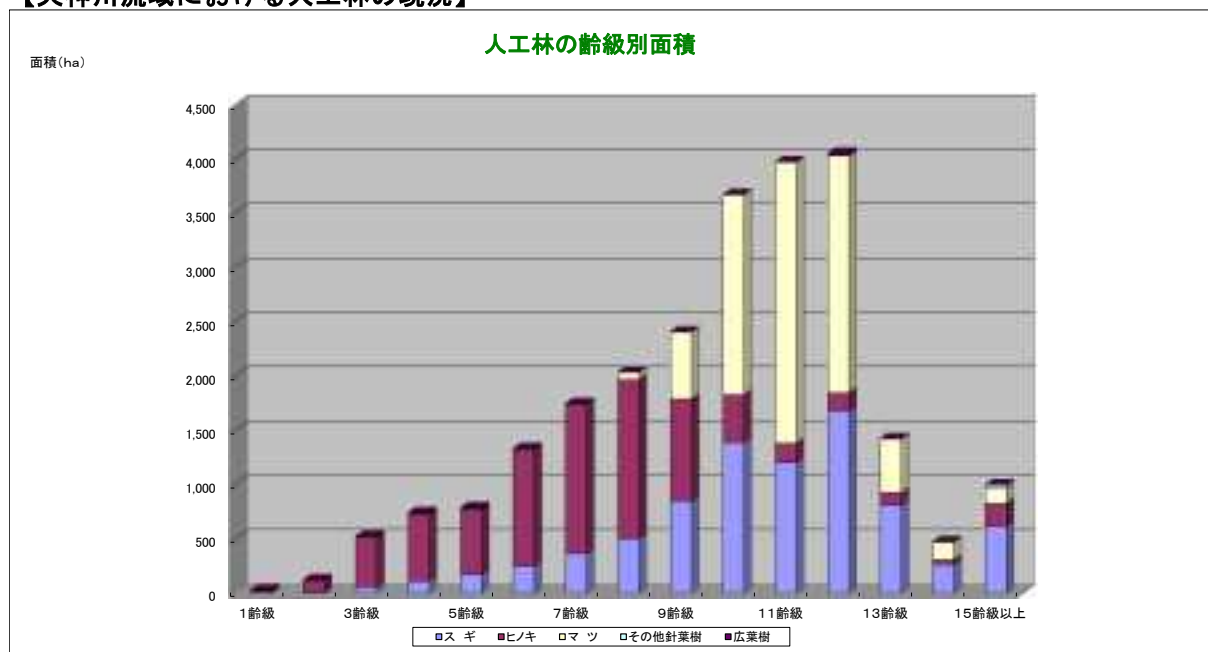
- ・ 中部の林野面積は、53,096haと、総土地面積の約68.0%を占めている。
- ・ 民有林のうち、スギ、ヒノキ等の人工林は24,479haで、人工林率は約55.8%に及んでいる。
- ・ スギ、ヒノキの人工林資源は、徐々に成熟し蓄積が増加しつつある。間伐を必要とする人工林が増大しており、間伐団地の設定や林業専用道の開設や車両系林業機械の導入により低コスト林業を推進している。

【林野面積】

区分	林野面積					民有林森林内訳			
	総面積	国有林	民有林	計	林野率	人工林	天然林	その他	人工林率
	ha	ha	ha	ha	%	ha	ha	ha	%
倉吉市	27,206	3,129	15,345	18,474	67.9	8,311	6,357	677	54.2
湯梨浜町	7,794	0	3,946	3,946	50.6	1,815	1,942	190	46.0
三朝町	23,352	4,270	16,571	20,841	89.2	9,454	6,689	488	57.1
北栄町	5,694	17	1,418	1,435	25.2	836	475	108	59.0
琴浦町	13,997	1,807	6,593	8,400	60.0	4,063	2,201	329	61.6
合計	78,043	9,223	43,873	53,096	68.0	24,479	17,664	1,792	55.7

資料：平成29年度鳥取県林業統計(平成28年度末)

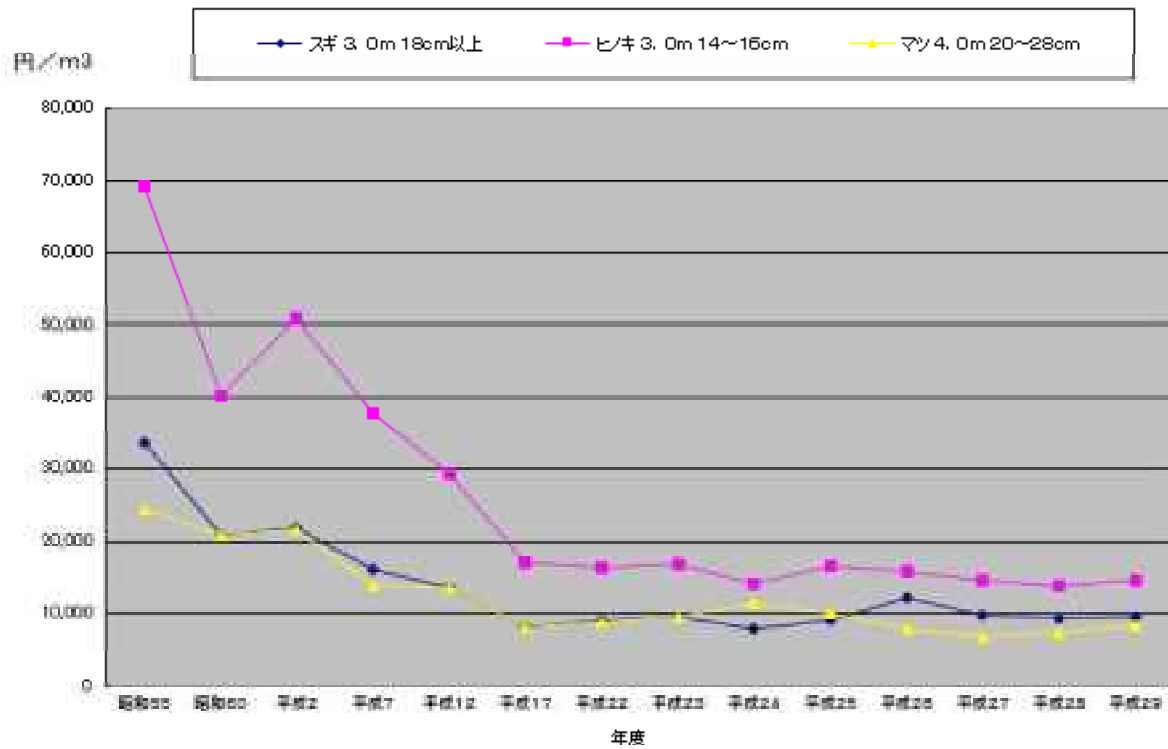
【天神川流域における人工林の現況】



(2) 木材価格の推移

木材価格は、昭和50年代頃には、スギ丸太材は3万円/m³以上、ヒノキ丸太材は6万円/m³以上と高価格で取引されていたが、それ以降は、価格の下落が続き、長期にわたり低迷を続けている。

木材価格の推移



□ 資料：鳥取県林業統計ほか

(3) 地域材の供給

- ・ 年間の素材生産量(平成28年次)は、スギ32,400m³、ヒノキ5,700m³、マツ2,300m³で、材価の低迷により減少していたが、近年は路網や林業機械の普及で若干ではあるが増大してきている。
- ・ 素材生産の形態は皆伐から利用間伐へ切り替わっており、高性能林業機械の導入や林業専用道・森林作業道の開設に逐次取り組むことにより、生産コストの低減が徐々に進捗しつつある。
- ・ 今後予想される素材生産量の増加を下支えする地域材の安定的な供給先が必要である。



□資料：平成 29 年度鳥取県林業統計（平成 28 年度末）



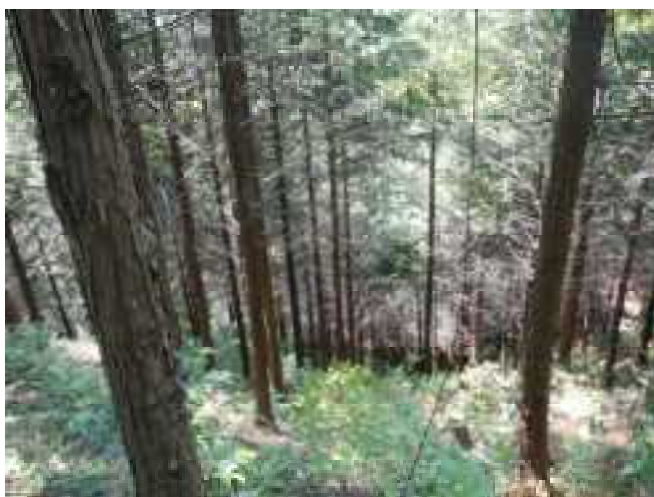
(4)間伐の推進

- ・ 間伐の推進のため、県では平成13年度から「間伐材持ち出し支援事業」を実施し、間伐材の市場への運搬・出荷経費を補助(2,800円/m³・平成30年度)している。
- ・ 管内の間伐材の搬出量は、平成19年度までは7千m³前後で推移していたが、平成25年度は22千m³、平成29年度は25千m³と年々に増大している。
- ・ このほか、「森林づくり作業道整備事業」により間伐推進のための基盤整備等を行っている。

間伐面積の推移



□平成29年度鳥取県林業統計



【市町村別間伐面積】

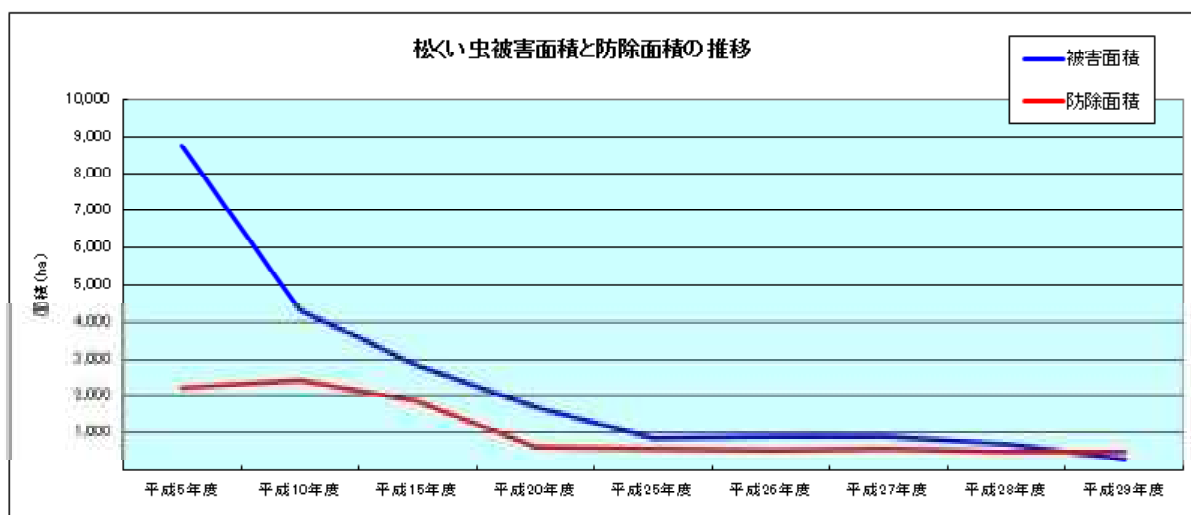
単位: ha

区 分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
倉吉市	212	236	86	235	136	91	253
湯梨浜町	49	69	10	13	17	23	15
三朝町	291	453	116	152	181	232	373
北栄町	65	40	26	22	16	15	40
琴浦町	133	277	87	131	90	112	239
計	750	1,075	325	553	440	473	920

(5) 森林病虫害

ア 松くい虫対策

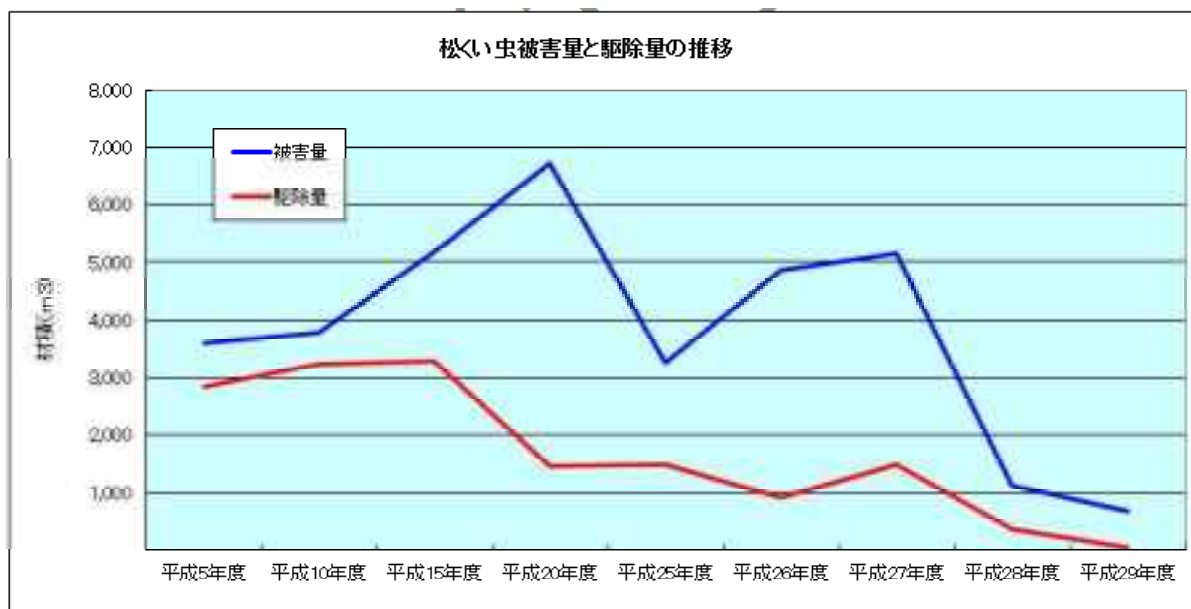
- 県中部地域の松くい虫被害面積は、昭和56年度の9千haをピークに漸減傾向であり、近年は800ha前後で推移していたが、春期の予防、秋期の駆除対策の結果、平成29年度は約300haに減少した。
- 被害材積は、昭和54年度の72千m³をピークに減少しており、気象条件等により増減がある。平成29年度は約670m³に減少した。



【松くい虫被害面積と防除面積】 単位：h a

区分	平成5年度	平成10年度	平成15年度	平成20年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
被害面積	8,771	4,331	2,820	1,688	861	872	898	678	291
防除面積	2,231	2,409	1,841	602	556	514	547	490	487

(資料) 森林・林業振興局調べ



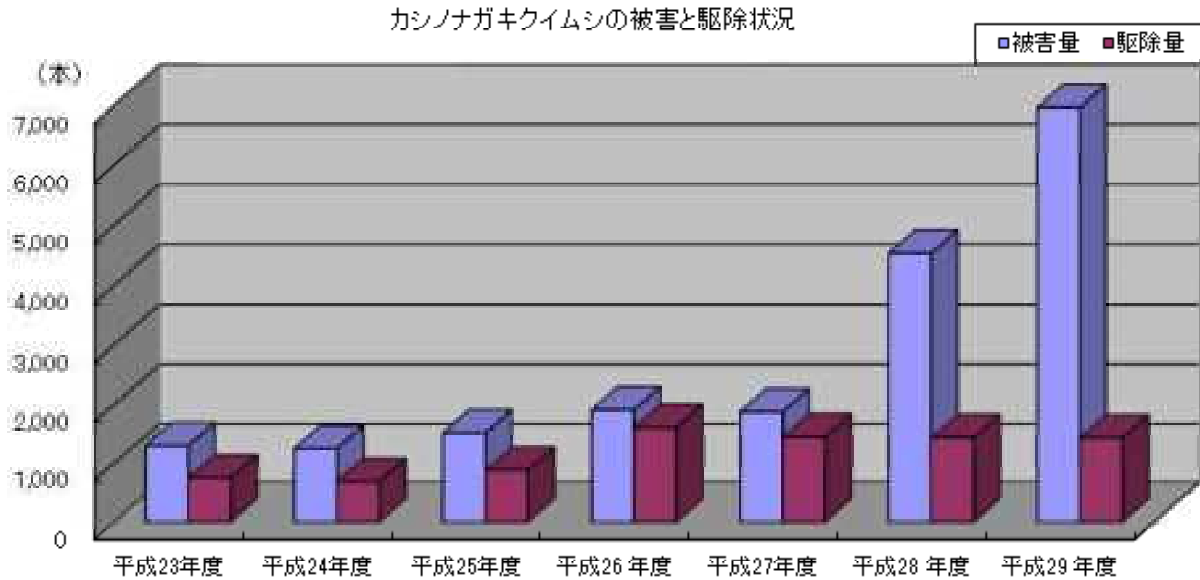
【松くい虫被害量と駆除量】 単位：m³

区分	平成5年度	平成10年度	平成15年度	平成20年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
被害量	3,601	3,782	5,166	6,703	3,257	4,857	5,153	1,131	668
駆除量	2,851	3,233	3,285	1,458	1,404	922	1,404	371	49

(資料) 森林・林業振興局調べ

イ ナラ枯れ対策

- カシノナガキクイムシによるカシ・ナラ類への被害は、県内では東部地域から拡大しており、中部地域では平成19年秋に三朝町内で被害が初めて確認された。
- 平成21年度に湯梨浜町、平成23年度に倉吉市、平成25年度には琴浦町でも被害が発生しており、薬剤注入などの被害対策を実施している。
- 現在、関係市町や国有林と連携し駆除対策を進めているが、被害の防止には至っておらず年々被害が拡大している。



【カシノナガキクイムシの被害量と駆除量】

単位：本

区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
被害量	1,304	1,253	1,521	1,911	1,878	4,525	6,958
駆除量	748	690	881	1,611	1,454	1,441	1,435

(資料) 森林・林業振興局調べ

▲カシノナガキクイムシの被害 (三朝町三徳)



♂ ♀
▲カシノナガキクイムシ



ナラ枯れの状況 (湯梨浜町川上)

(6)「とっとり共生の森」の活動状況

○損保保険ジャパン日本興亜(株)(琴浦町山川地区)



○鳥取県生活協同組合(倉吉市壺海地区)



○人形峠環境技術センター安全等連絡協議会(三朝町木地山地区)



○山陰合同銀行(三朝町山田地区)



○日本水産(株)(琴浦町山川地区)

「とっとり共生の森」森林保全・管理協定を締結した森林

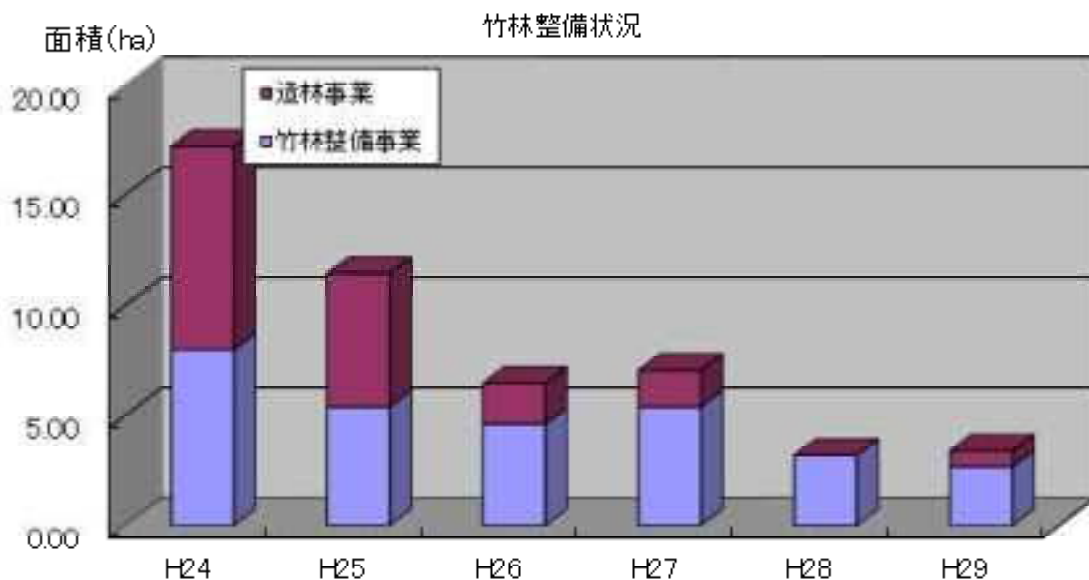
平成30年10月現在

参画企業 (H30.10.25 現在)	NO	企業名等	NO	企業名等
		1	(株)山陰合同銀行(智頭町、江府町、三朝町、伯耆町)	11
	2	鳥取ガス(株)(鳥取市)	12	日本通運(株)(日南町)
	3	(財)イオン環境財団(鳥取市)	13	ファミリー(株)(大山町)
	4	コカ・コーラウエスト(株)(伯耆町)	14	(社)鳥取県トラック協会(鳥取市)
	5	サントリーホールディングス(株)(江府町)	15	人形峠環境技術センター安全等連絡協議会(三朝町)
	6	日本たばこ産業(株)(智頭町)	16	西日本電信電話株式会社鳥取支店(八頭町)
	7	(株)損保保険ジャパン(琴浦町)	17	楽天株式会社(若桜町)
	8	全日本空輸(株)(鳥取市、境港市)	16	西日本電信電話株式会社鳥取支店(八頭町)
	9	(株)NTTドコモ中国支社(伯耆町)	17	楽天株式会社(若桜町)
	10	西日本高速道路(株)	18	楽天(株)
		西日本高速道路サービス・ホールディングス(株)(南部町)	19	日本水産(株)

(7) 竹林整備の状況

管内の竹林は耕作放棄地等を中心に急速に区域拡大して周辺の森林に侵入し、スギなどの人工林や天然林を枯損させるなど多大な被害を生じさせている。

平成20年度から竹林伐採への補助を始め、平成21年度からは適正な竹林管理のための皆伐、竹林整備のためのアクセス道開設、平成24年度からは管理道の開設が補助対象となった。



【竹林整備面積】

(単位: ha)

区分	H24	H25	H26	H27	H28	H29	備考
竹林整備事業	8.02	5.41	4.61	5.41	3.20	2.69	竹林管理のための間伐・皆伐
造林事業	9.20	6.03	1.87	1.66	0.00	0.71	竹林からクヌギ林等への樹種転換
合計	17.22	11.44	6.48	7.07	3.20	3.40	

□ 中部総合事務所調べ。

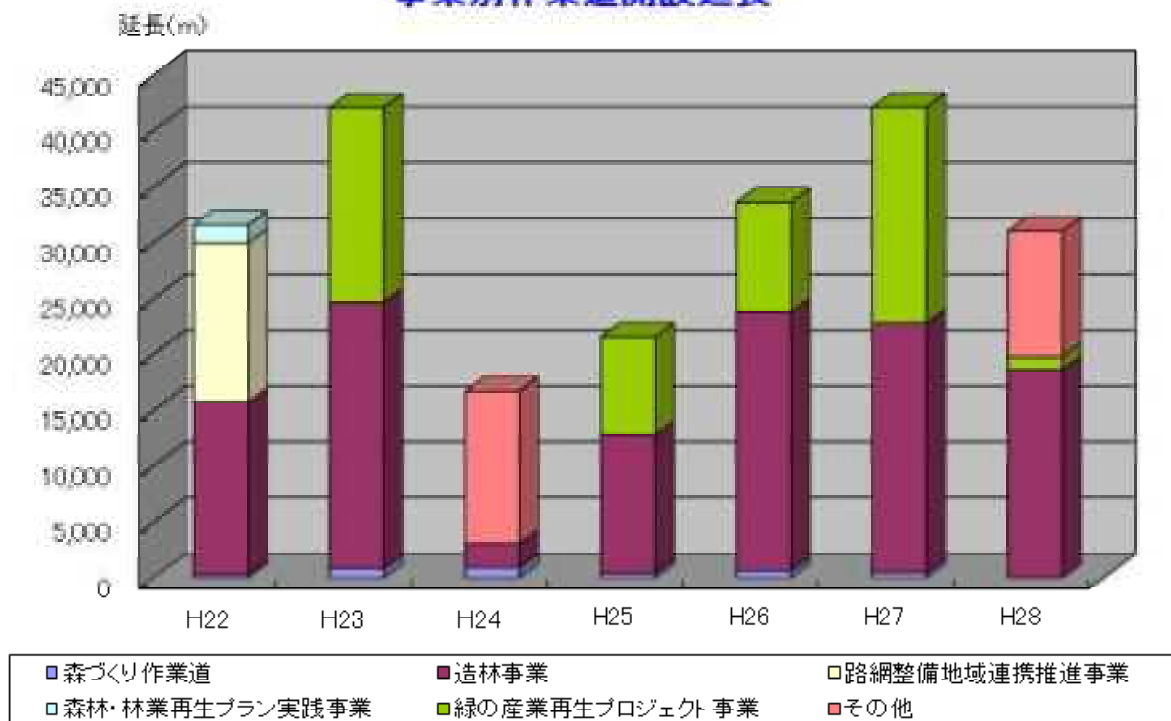
▼ 整備された竹林 (湯梨浜町園地内)



(8) 森林路網整備

ア 作業道開設状況

事業別作業道開設延長



【作業道の開設延長】

単位: m

区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	備考
森づくり作業道	322	885	955	431	685	504		
造林事業	15,424	23,793	2,141	12,413	23,140	22,303	18,641	
路網整備地域連携推進事業	14,246							H21はモデル事業
森林・林業再生プラン実践事業	1,641							
緑の産業再生プロジェクト事業		17,415	0	8,715	9,816	19,340	1,116	
その他			13,627				11,302	
合計	31,633	42,093	16,723	21,559	33,641	42,147	31,059	

(資料) 鳥取県林業統計ほか



(9) 林道整備状況

イ 現在整備中の林道状況

路線名	実施主体	位置	全体計画			計画期間	平成29年末の実施済延長	平成30年度以降の計画延長
			幅員(m)	延長(m)	事業費(千円)			
山守矢送	鳥取県	倉吉市関金町郡家～堀	4.0 ～5.0	11,748	2,861,616	H8 ～H29	11,748	0
波関俵原	鳥取県	三朝町片柴～三徳	4.0	14,109	3,350,863	S60 ～H28	14,109	0
若桜・江府	鳥取県	三朝町助谷～久原	7.0	3,300	3,434,549	H20 ～H30	2,692	608
3路線				29,157	9,647,028		28,549	608

イ 年度別事業費

(単位:千円)

年度	県営事業	補助事業	計
H13	474,226	173,917	648,143
H14	414,530	273,164	687,694
H15	250,470	251,796	502,266
H16	240,000	244,400	484,400
H17	243,500	251,600	495,100
H18	260,000	99,650	359,650
H19	275,000	48,798	323,798
H20	772,100	60,000	832,100
H21	659,000	71,000	730,000
H22	424,998	0	424,998
H23	400,683	0	400,683
H24	626,190	0	626,190
H25	453,000	215	453,215
H26	424,219	0	424,219
H27	520,636	2,948	523,584
H28	220,927	13,043	233,970
H29	203,799	11,000	214,799

ウ 災害による林道の被害状況

年度	路線数	箇所数(箇所)	被害延長(m)	被害額(千円)	主な災害名
17	9	14	513	34,191	9、10月秋雨前線豪雨
18	5	5	141	32,875	7月梅雨前線豪雨
19	0				
20	0				
21	2	3	47	4,192	10月台風18号
22	0	0	0	0	
23	20	31	1,158	245,868	9月台風12号及び15号
24	0	0	0	0	
25	2	2	25	6,825	7月豪雨
26	0	0	0	0	
27	0	0	0	0	
28	8	11	517	26,918	平成28年鳥取県中部地震
29	3	6	162	30,554	7月豪雨、9月台風18号、10月台風21号

(10) 中部管内の保安林の指定現況

私たちの暮らしを守るために特に重要な役割を果たしている森林を保安林に指定。

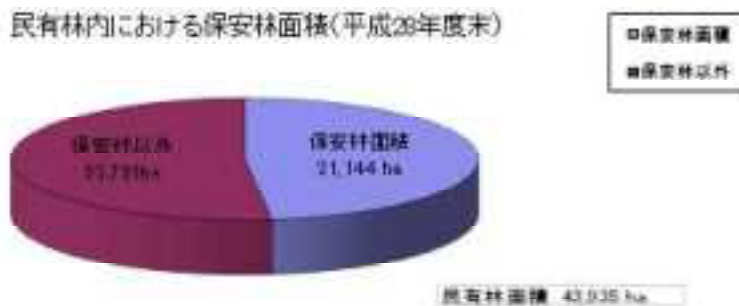


▲写真 水源かん養保安林
(琴浦町一向ノ子)

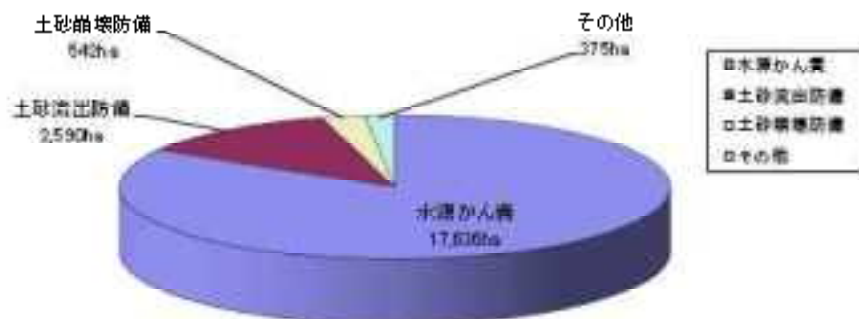
▼写真 土砂崩壊保安林(勝島郡町)



A 民有林内における保安林面積(平成28年度末)



B 保安林の種類別の内訳(平成28年度末)



中部管内の民有林の48.1%が保安林に指定され、そのうち83.4%が水源かん養保安林に指定。

(11) 森林整備事業の実績

水源かん養、飛砂防備等の公益的機能の維持・回復のため、森林整備（植栽、防風工設置、下刈、本数調整伐、等）を行っている。

	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
保安林改良事業							
防風工 (m)	70.0	112.0	133.0	1,019.0	142.5	—	112.5
静砂工 (m)	652	662	1,673	3,799	1,744	—	1,206
植栽工 (ha)	0.35	1.37	0.82	2.18	0.78	—	0.54
保育事業							
下刈 (ha)	10.15	7.86	8.48	9.80	10.34	10.27	9.73
除伐 (ha)	2.70	3.90	2.60	3.54	—	13.37	8.54
本数調整伐・枝落し等 (ha)	2.40	1.28	0.81	—	2.17	0.69	—
補植 (ha)	—	0.50	—	0.34	—	0.51	—
とっとり環境の森緊急整備事業(強度間伐) (ha)	7.52	—	—	—	—	—	—



▲保安林改良事業(湯梨浜町石脇) H25年度植栽



※左記事業地のH29.8月の状況



▲保育事業【下刈り】(北栄町大谷)



▲保育事業【除伐】(三朝町大谷)

(12) 林業普及活動状況

① 持続的な森林経営の確立支援

急傾斜地等の路網の作設が困難な森林、奥山の路網が未整備な森林の木材搬出を推進するため、オーストリア製のタワーヤーダの効率的な活用を支援している。

持続的に低コスト林業を進めるため、「鳥取式作業道」、「オーストリア式の強い道作り」を活用し、丈夫な道作りを支援している。

スギ、ヒノキ人工林の資源構成の平準化を図るため、皆伐・再生林を推進している。



② 森林を支える人づくりの支援

中部管内の森林整備・保全を実施する担い手の確保・育成や低コスト林業に向けた人材の育成及び林業における安全な労働環境の構築のため研修会等を開催している。



③ 特用林産の生産振興

特用林産物の生産は、地域の森林資源を活用した産業の一つであり、特に中部管内の特用林産物の主力である原木シイタケとタケノコ生産は、その栽培活動が里山林の整備・維持管理にも繋がっていることから、生産拡大等の取組の支援や栽培技術等の指導・助言を行っている。



④ 地域材の利用拡大

木質資源の地域の循環を推進するため、木造住宅や公共建築物等の県産材利用の推進と併せて、「木育」を進め、木の良さと森を育てる意義等を普及啓発している。

